

2024年6月28日

各位

株式会社 SBI 新生銀行
代表取締役社長 川島 克哉

男性会社員のお小遣い額は 39,081 円、女性会社員は 34,921 円
「2024 年会社員のお小遣い調査」結果について
～男性は昨年より約 1,500 円減少、女性は 80 円の微減～

当行は、20 代から 50 代の有職者の男女約 2,700 名を対象にした「2024 年会社員のお小遣い調査」を実施し、その結果を取りまとめました。

「2024 年会社員のお小遣い調査」結果の主なポイント

- 【お小遣い額(毎月の平均額)】 男性会社員は 39,081 円(前年比 1,477 円減)。女性会社員は 34,921 円(前年比 80 円減)。
- 【昼食代】 男性会社員は 709 円(前年比 85 円増)。女性会社員は 694 円(同、2 円減)。
- 【1 ヶ月の外での飲み代】 男性会社員は 13,533 円(前年比 317 円減)。女性会社員は 9,791 円(前年比 217 円増)。
- 【昼食代の支払い手段】男性・女性会社員ともに「現金」がトップで、次いで「QR コード決済」となる。「QR コード決済」が「クレジットカード」を上回った。

～2024 年トピックスとして～

- ✓ 【新 NISA 認知】 男性・女性会社員ともに新 NISA の認知は 7 割半ばで、20 代の認知がやや低い傾向。
- ✓ 【投資開始意向】(新 NISA を知っているが投資をしていない方の)新 NISA 口座での投資意向は、男性・女性会社員で 4 割前後。
- ✓ 【物価高の影響】 男性・女性会社員ともに、物価高の影響を感じている人が 8 割強で、年代が高いほど物価高の影響を感じている人が多い。物価高対策で支出を減らしている費用のトップは、男女ともに「食費」。

- 【お小遣い額(毎月の平均額)】 男性会社員は前年比減で 39,081 円になり、女性会社員も前年比減で 34,921 円となった

男性会社員の月額平均お小遣い額は、39,081 円と前年比 1,477 円の減少となりました。昨年は 2010 年以降、二度目の 40,000 円台となりましたが、上昇トレンドとならず、今年は以前の水準に戻り 4 万円を下回っています。男性会社員の年代別では、20 代・40 代で大幅に減少し、一方 50 代で大幅に増加するなど、世代間で差が出る結果となりました。この 1 年間のお小遣い額の変化では、変化があった男性会社員は「アップした」が 8.9%(前年は 6.9%)、「ダウンした」が 10.4%(同、9.8%)と、ダウンした会社員の割合が前年よりも高い結果となりました。一方、女性会社員のお小遣い額は、前年より 80 円減少し、34,921 円となり、男性会社員よりも減少幅が少なく、ほぼ昨年と同水準となりました。年代別では 20 代が最も高く 40,578 円と男性会社員の 20 代の平均額とほぼ同水準となりました。

- 【昼食代】 男性会社員は 85 円増加・女性会社員は 2 円減少となり、男女ほぼ同額

男性会社員の 1 日の昼食代は、前年の 624 円から 85 円増加し、709 円となり調査開始の 2010 年以降初めて 700 円台を超えました。年代別にみると、30 代で 749 円と最も高くなっております。女性会社員の 1 日の昼食代は、前年の 696 円から 2 円減少し、694 円となり、前年とほぼ同水準となりました。男女ともに持参弁当の割合が最も高く、男性で 36.7%、女性で 53.5%を占める結果となりました。

- **【1カ月の外での飲み代】 男性会社員は前年から317円減少、女性会社員は前年から217円増加する結果に**
男性会社員の1カ月の外での飲み代は、13,533円(前年比、317円減)、女性会社員は9,791円(同、217円増)と、男女ともに前年とほぼ同水準となりました。
- **【昼食代の支払い手段】 「現金」がトップ。「QRコード決済」が「クレジットカード」を上回る結果に**
男性会社員の昼食代の支払い方法は、「現金」が65.3%で最も高く、「QRコード決済」36.9%、「クレジットカード」36.2%と続きます。女性会社員の昼食代の支払い方法は、「現金」が64.0%で最も高く、「QRコード決済」46.8%、「クレジットカード」36.8%と続きます。前年と比較して、男性会社員の「現金」使用が6.4%ほど減少し、特に20代では6割を切る結果となりました。
- ✓ **【新NISA認知】 男性・女性会社員ともに新NISA認知は7割半ばを過ぎている**
新NISA認知について、男性会社員は「知っている」が76.5%、女性会社員は75.1%とほぼ同水準。性年代別でみると、男女ともに20代で認知がやや低めの傾向となりました。
- ✓ **【投資開始意向】 (新NISAを知っているが投資をしていない方の)新NISA口座での投資開始意向は男性・女性会社員で4割前後**
老後資金について、男性会社員の投資開始意向は39.7%、女性会社員は42.0%となります。もっとも投資開始意向の高い層は女性20代で52.6%と半数を超えています。一方、男女ともに50代は投資開始意向が低めで3割前後となっております。
- ✓ **【物価高の影響】 男性・女性会社員ともに、物価高の影響を感じている人が8割強**
物価高の影響を「負担を感じている(計)」は男性会社員が82.4%、女性会社員が85.7%とほぼ同水準です。年代別にみると、男女ともに年代が高いほど、物価高の影響を感じる割合が高まる傾向にあります。特に50代女性会社員は「とても負担を感じている」が67.1%とどの性年代よりも物価高の影響を受けている様子が伺えます。物価高対策で支出を減らしている費用は男女ともに「食費」がトップとなりました。男性会社員は「外食費」29.0%、「娯楽・レジャー費」26.1%と続きます。女性会社員はお小遣いの使いみちとして上位項目にあがっている「身だしなみ」や「ファッション費用」と関連して、「衣服費」「美容費」の節約をしている割合が高くなっています。

本調査の詳しい調査結果については、別添「2024年会社員のお小遣い調査詳細レポート」をご参照ください。

以上

お問い合わせ先
SBI新生銀行 サステナビリティ&コミュニケーション統括部
報道機関のみなさま: SBIShinsei_PR@sbishinseibank.co.jp

別添

2024年
会社員のお小遣い調査
詳細レポート

2024年 会社員のお小遣い調査概要

2024年のお小遣い額は
男性会社員と女性会社員ともに減少という結果に
男性会社員は39,081円(前年比1,477円減少)
女性会社員は34,921円(前年比80円減少)

- 2024年3月の月例経済報告で「景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。」とされる景況感の中、男性会社員の毎月の平均お小遣い額は39,081円と、前年より1,477円減少する結果に。
- 女性会社員の毎月の平均お小遣い額は34,921円と、前年より80円減少し、2014年の調査開始以来3番目に高い水準となった。
- 男性会社員と女性会社員の毎月の平均お小遣い額の差は、4,160円。
- 男性会社員の1日の平均昼食代は前年比85円増加で709円、女性会社員は2円減少し694円。
- 男性会社員の1ヵ月の外での飲み代は13,533円(前年比317円減)。女性会社員は9,791円(前年比217円増)。
- 新NISAがスタートしたことは、男性・女性会社員ともに約8割が「知っている」と回答した。「新NISAを知っており、現在投資を行っている」人のうち、男性・女性会社員ともに「新NISA開始前と比べて、月々の投資金額が増加した」が約4割。「新NISAを知っているが、現在投資を行っていない」人のうち、男性・女性会社員ともに約4割が「新NISA口座で投資を開始したい」と回答した。
- 男性・女性会社員ともに、約8割の人が物価高の影響を感じており、約7割の人が支出が増えたと回答。また、物価高による影響に対応するために支出を減らしているものとして最も高いのは「食費」という結果に。

■2023年度の景気動向

2023年度初頭の日経平均株価は2万8,000円台からスタートし、半導体関連の銘柄の上昇が牽引し2024年3月には日経平均史上初となる4万円台を超え、年度を通して大幅な上昇となりました。2023年度の世界経済は、ロシアのウクライナ侵攻の長期化やイスラエル・ハマス紛争の勃発などの地政学リスクの高まり、インフレ抑制に向けた世界的な金融環境の引き締まりの継続、不動産市場の調整と雇用・所得の回復の鈍さを背景とした中国経済の成長減速などが下押し要因となりましたが、米国経済を中心に概ね底堅く推移しました。世界経済のソフトランディング見通しに加えて、日本においては、企業収益の改善やデフレ脱却期待の強まり、緩和的な金融環境の継続期待などが株式市場の上昇につながったとみられます。

景気の見方について、2023年度の国内の実質GDPは前年度比1.2%増加となりました。インバウンド需要や自動車輸出の回復がけん引したほか、堅調な企業収益を背景に設備投資も底堅く推移しました。一方、物価上昇を受けて、個人消費の回復は足踏みしました。

賃金面においては、厚生労働省が発表した2023年度の「毎月勤労統計調査」によると、名目賃金指数が前年度比1.3%増加、物価変動を除いた実質賃金指数は同2.2%減少となりました。同じく厚生労働省が発表した2023年の「賃金構造基本統計調査」によると、一般労働者の月額賃金は男性35万900円(前年比2.6%増加)、女性26万2,600円(同1.4%増加)となりました。

■2024年度の見通し

当行は、賃上げ加速による家計の実質所得環境の改善、企業の設備投資やインバウンド需要の回復持続等を背景に、2024年度の日本の実質GDPは前年度比+0.6%(注)と、緩やかな成長が続くと展望しています。もっとも、物価高が引き続き個人消費を下押しするリスクに加えて、各国の金融政策運営や地政学リスクの高まり等、世界経済を巡る不確実性は高く、景気下振れリスクが大きいことには留意が必要です。また2024年度の賃金の見通しとしては、2024年春闘の中間集計結果によると(2024年6月5日公表)、基本給を底上げするベースアップ(ベア)実施額は3,423組合の賃上げ額平均で10,648円となり(引き上げ率は3.54%)、前年同時期の実施額と率(賃上げ額6,029円、引き上げ率2.14%)を大きく上回りました。

■2024年会社員のお小遣い調査

2024年の「会社員のお小遣い調査」では、男性会社員のお小遣いが前年の40,557円から1,477円減少して39,081円となりました。男性会社員のお小遣いを年代別にみると、50代が最も高く43,453円と4万円台前半のお小遣い額となりました。女性会社員のお小遣い額は、昨年より80円減少し34,921円となり、昨年とほぼ同水準となりました。

ライフステージ別では、未婚の男性会社員のお小遣いが最も高く45,779円となっています。一方で、子どもあり世帯では3万1,000円台~3万3,000円台となり、子育て・教育費の家計への負担が重い世帯において、お小遣い額がやや低い結果となっています。

男性会社員の一日の昼食代は、昨年の624円から85円増加し709円となり、2010年の調査開始以来最も高い金額となっております。女性会社員の一日の昼食代は、昨年より2円減少して694円となり、昨年と同水準となりました。

お小遣いの使い道としては、男性会社員と女性会社員ともにトップは「昼食代」、次いで「携帯電話代」という結果になり、最も金額が高いのは、男性会社員が「遊興費」で15,324円、女性会社員が「飲み代」で11,252円の月々の支出となりました。

＜調査設計＞

- 調査時期 2024年4月12日～4月15日の4日間
- 調査方法 インターネットによる調査(株式会社マクロミルに依頼し、全国からサンプルを収集)
- 調査エリア 全国
- 調査対象者 会社員(正社員・契約社員・派遣社員)、パート・アルバイト
- サンプル数 合計2,718名
 - 会社員 男性:1,252名、女性:842名
 - パート・アルバイト 男性:312名、女性:312名

	男性 会社員		女性 会社員		男性 パート・アルバイト		女性 パート・アルバイト	
	N	%	N	%	N	%	N	%
20代	313	25%	211	25%	78	25%	78	25%
30代	313	25%	210	25%	78	25%	78	25%
40代	313	25%	211	25%	78	25%	78	25%
50代	313	25%	210	25%	78	25%	78	25%
総計	1,252	100%	842	100%	312	100%	312	100%

※会社員、女性パート・アルバイトは、年代均等にて割付回収しています。

※男性パート・アルバイトは年代均等になるよう、集計時に補正をしています。

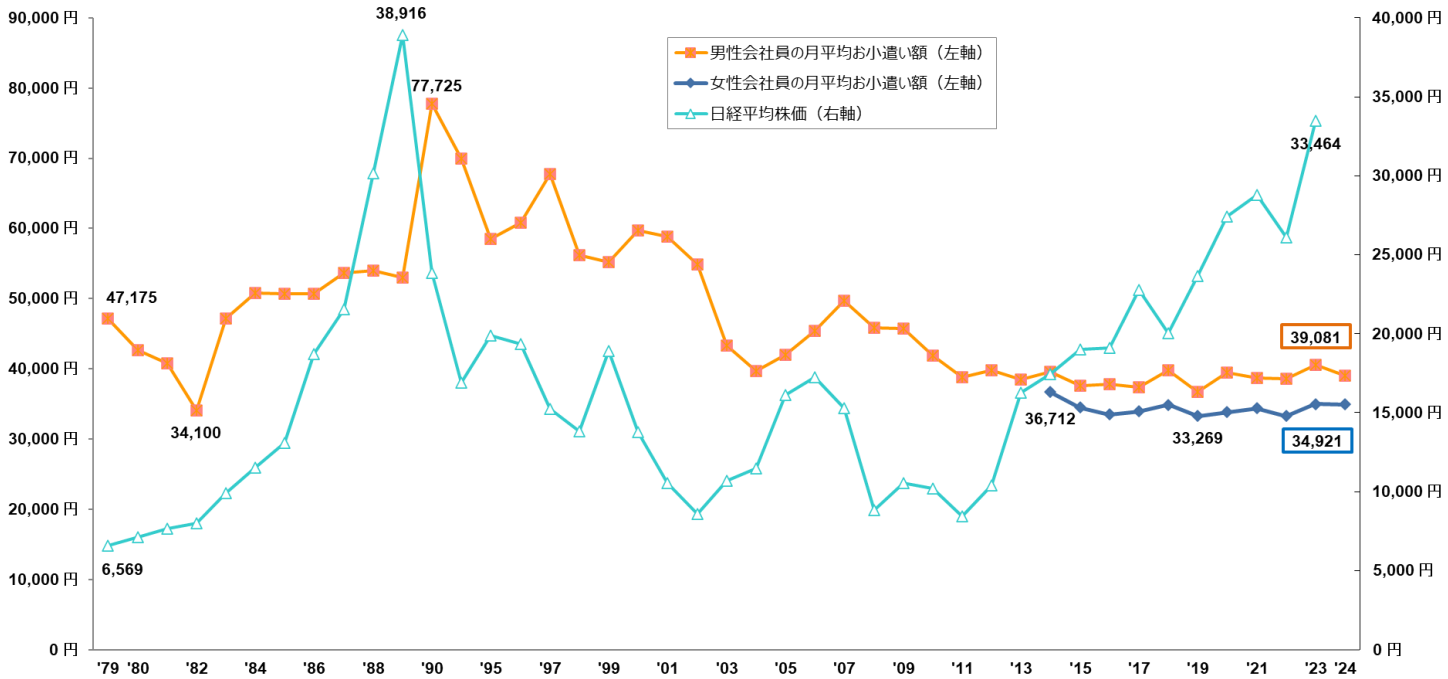
(本レポートは、補正後のスコアを掲載しています)

※性別について「その他・答えたくない」と回答した人も対象としていますが、n=103のため分析軸に入れていません。

＜目次＞

【1】 会社員のお小遣い.....	6
【2】 会社員の昼食事情.....	12
【3】 会社員の飲み事情.....	16
【4】 経済的なゆとり.....	20
【5】 お小遣いの使いみち、やりくり術.....	22
【6】 会社員の給与管理状況.....	27
【7】 支払い手段.....	31
【8】 投資状況.....	33
【9】 新NISAについて.....	35
【10】 物価高の影響.....	39
【11】 パート・アルバイトの基本データ.....	42

日経平均株価と会社員の平均お小遣い額の推移 (1979年～2024年)



- 1978年以前と、1991年および1993年、1994年については調査を実施していません。
- グラフ中の日経平均株価は、年次データの終値を表記しています。

【1】 会社員のお小遣い

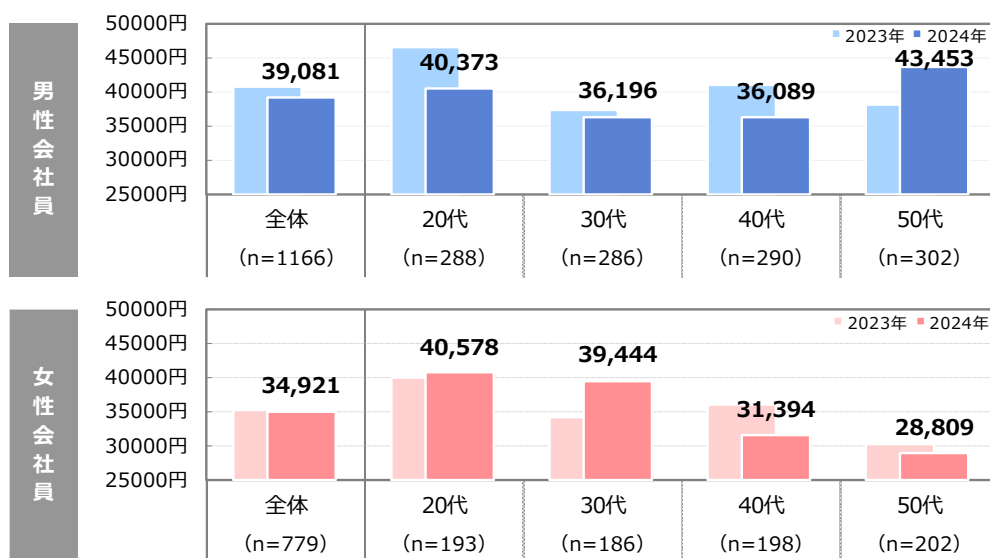
- ▶ 男性会社員の月平均お小遣い額は39,081円と昨年比1,477円の減少となった
- ▶ 女性会社員の月平均お小遣い額は34,921円と昨年比80円の減少となった
- ▶ 男性・女性会社員ともに40代は減少
- ▶ 男性会社員では、ライフステージ別で子どもが大きくなるにつれて増加する傾向がみられた

■ 月の平均お小遣い額

男性会社員の月の平均お小遣い額は、昨年の40,557円から1,477円減の39,081円となりました。年代別にみると、特に20代と40代で大幅に減少、また50代で増加しておりますが、30代も減少しております。

一方、女性会社員のお小遣い額は、昨年の35,001円から80円減の34,921円とほぼ同水準となりました。年代別にみると、特に40代で大幅に減少、また30代では大きく増加しておりますが、50代ではやや減少しております。

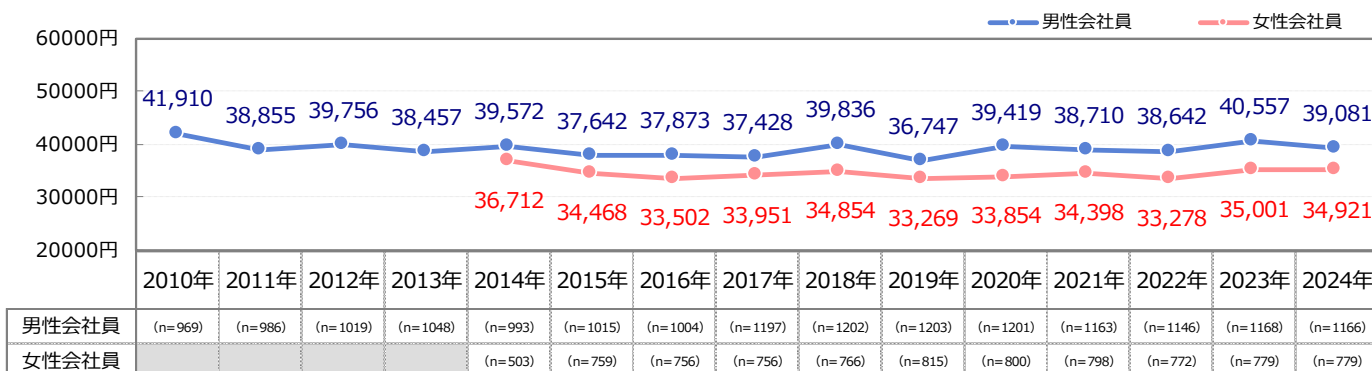
設問：あなたの一カ月の“おこづかい”はいくらですか？（昼食代含む）



男性会社員における近年のお小遣い額は、2022年から2023年にかけては増加したものの、2023年から2024年にかけては減少しております。

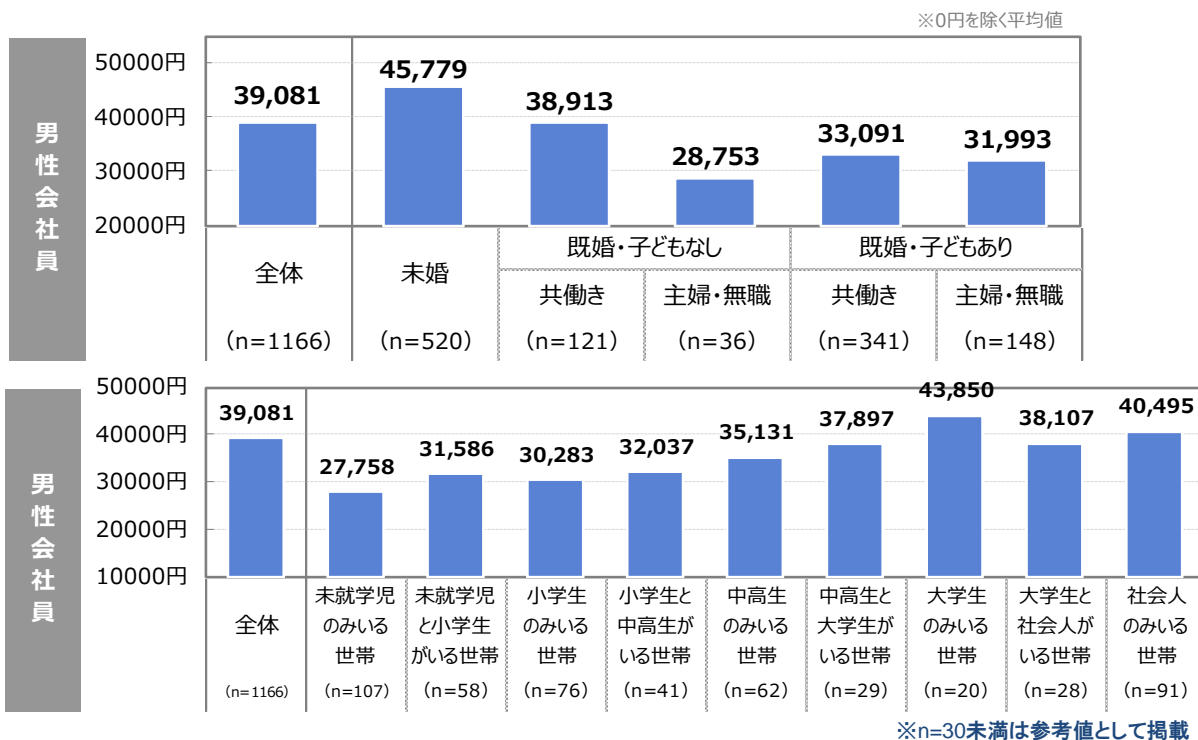
女性会社員のお小遣い額も男性会社員と同様、2022年から2023年にかけては増加、2023年から2024年にかけては微減して推移しております。

■ 平均お小遣い額の時系列推移（2010年～2024年）



男性社員の平均お小遣い額をライフステージ別にみると、未婚者では4万5千円台となっており、既婚者と比べてお小遣い額が高い結果となりました。

設問：あなたの一カ月の“おこづかい”はいくらですか？（昼食代含む）

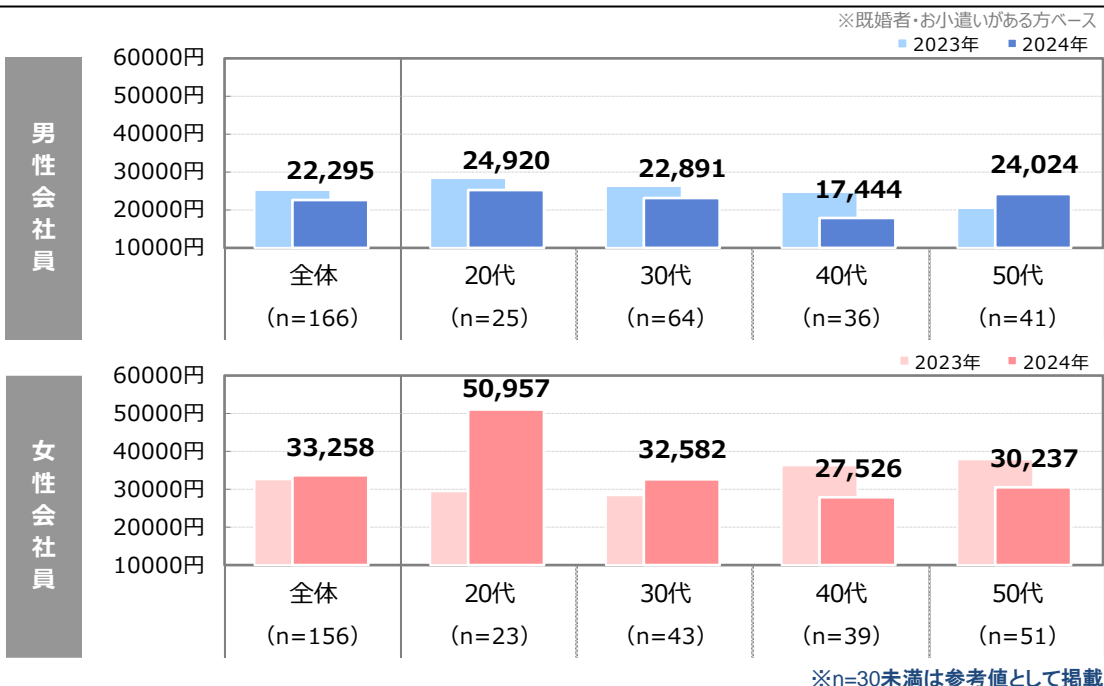


■ 配偶者（パートナー）のお小遣い額

男性社員の配偶者（パートナー）のお小遣い額は、昨年より2,513円減少し、22,295円となっております。年代別では、20代が24,920円と最も高い金額となっております。

一方、女性社員の配偶者（パートナー）のお小遣い額は、863円増加し、33,258円となっております。また、年代別にみると、20代が昨年より大幅に増加し、50,957円と最も高い金額となっております。

設問：配偶者（パートナー）の一カ月の“おこづかい”はいくらですか？（昼食代含む）



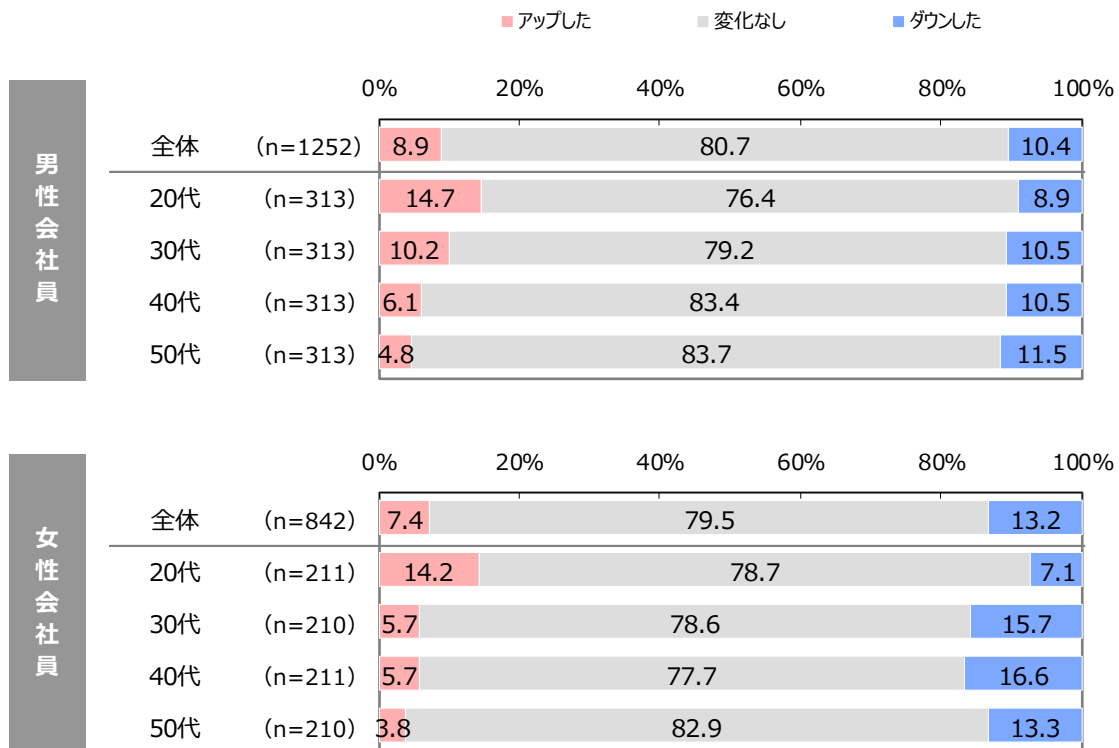
■ お小遣い額の変化

男性社員では、この1年でお小遣い額に変化があった方は限定的で、「変化なし」が8割という結果でした。変化があった方では、「アップした」が8.9%、「ダウンした」が10.4%と、ダウンした方の割合がやや多い結果となっております。年代別にみると、若年の方ほど「アップした」の割合が高まり、20代では14.7%となります。

一方、「ダウンした」の割合は、50代で11.5%と最も多くなります。

女性社員についても、多くの方が「変化なし」という結果は、男性社員と同様です。ただし、「ダウンした」の割合が13.2%と男性社員よりわずかに高く、特に40代で16.6%と最も多くなります。

設問：この一年(2023年4月～2024年3月)の間に、あなたの“おこづかい”はどのように変化しましたか？



■ お小遣いに変化があった方のプロフィール

男性社員のこの1年でお小遣いがアップした方(8.9%)とダウンした方(10.4%)のプロフィールを、男性社員全体と比較したものが以下となります。ここから、お小遣いに変化があった方がどのような方なのかを確認します。

まず、お小遣いがアップした方は、年齢は20代が41.1%を占め、若年層寄りの傾向が顕著です。年収では、個人年収は全体より約20万円ほど低く、世帯年収は全体より約10万円ほど高くなっています。家族構成では未婚層の割合が高い傾向がみられます。

一方、お小遣いがダウンした方は、年齢は50代が最も多く、年収は、個人年収・世帯年収ともに全体より低い結果となっております。

	男性社員 全体 (n=1252)	お小遣いがアップした方 (n=112)	お小遣いがダウンした方 (n=130)
年齢	<ul style="list-style-type: none"> 20代 25.0% 30代 25.0% 40代 25.0% 50代 25.0% 	<ul style="list-style-type: none"> 20代 41.1% 30代 28.6% 40代 17.0% 50代 13.4% 	<ul style="list-style-type: none"> 20代 21.5% 30代 25.4% 40代 25.4% 50代 27.7%
年収	個人年収 529 万円 世帯年収 668 万円	個人年収 511 万円 世帯年収 677 万円	個人年収 469 万円 世帯年収 574 万円
家族構成	<ul style="list-style-type: none"> 未婚 45.3% 既婚 子なし 10.3% 既婚 子なし 3.3% 既婚 子あり 28.8% 既婚 子あり 12.3% 	<ul style="list-style-type: none"> 未婚 50.9% 既婚 子なし 14.3% 既婚 子なし 1.8% 既婚 子あり 28.6% 既婚 子あり 4.5% 	<ul style="list-style-type: none"> 未婚 47.7% 既婚 子なし 7.7% 既婚 子なし 2.3% 既婚 子あり 26.9% 既婚 子あり 15.4%
給与管理状況 ※既婚者ベース	<ul style="list-style-type: none"> 全額を家庭に入れる 55.3% 一定額を家庭に入れる 25.3% 一定額を残し、残りを家庭に入れる 12.8% 自分で自由に使っている(家庭には入れず) 6.6% (n=685)	<ul style="list-style-type: none"> 全額を家庭に入れる 52.7% 一定額を家庭に入れる 34.5% 一定額を残し、残りを家庭に入れる 7.3% 自分で自由に使っている(家庭には入れず) 5.5% (n=55)	<ul style="list-style-type: none"> 全額を家庭に入れる 58.8% 一定額を家庭に入れる 27.9% 一定額を残し、残りを家庭に入れる 7.4% 自分で自由に使っている(家庭には入れず) 5.9% (n=68)

※右下にn数が記載されていないグラフは、各カテゴリの1番上に記載している総n数が該当します。

女性会社員では、この1年でお小遣いがアップした方は7.4%、ダウンした方は13.2%という結果になりました(P8参照)。

女性会社員全体と比較して、プロフィールの特徴をみると、お小遣いがアップした方は、年齢は20代が48.4%を占め、若年層寄りの傾向がみられます。個人年収・世帯年収ともに女性会社員全体を上回る金額となっており、特に世帯年収は全体と約100万円の開きがあります。

一方、お小遣いがダウンした方は、年齢は30代と40代が多く、年収は個人年収・世帯年収ともに全体より低い結果となっております。

	女性会社員 全体 (n=842)	お小遣いがアップした方 (n=62)	お小遣いがダウンした方 (n=111)
年齢	<ul style="list-style-type: none"> 20代 25.1% 30代 24.9% 40代 25.1% 50代 24.9% 	<ul style="list-style-type: none"> 20代 48.4% 30代 19.4% 40代 19.4% 50代 12.9% 	<ul style="list-style-type: none"> 20代 13.5% 30代 29.7% 40代 31.5% 50代 25.2%
年収	個人年収 353 万円 世帯年収 640 万円	個人年収 419 万円 世帯年収 736 万円	個人年収 309 万円 世帯年収 550 万円
家族構成	<ul style="list-style-type: none"> 未婚 56.7% 既婚 子なし 15.3% 既婚 子あり 1.1% 既婚 共働き 26.1% 既婚 主婦/無職 0.7% 	<ul style="list-style-type: none"> 未婚 58.1% 既婚 子なし 9.7% 既婚 子あり 30.6% 既婚 共働き 1.6% 既婚 主婦/無職 1.6% 	<ul style="list-style-type: none"> 未婚 56.8% 既婚 子なし 13.5% 既婚 子あり 0.9% 既婚 共働き 27.9% 既婚 主婦/無職 0.9%
給与管理状況 ※既婚者ベース	<ul style="list-style-type: none"> 全額を家庭に入れる 33.5% 一定額を家庭に入れる 36.0% 一定額を残し、残りを家庭に入れる 16.8% 自分で自由に使っている (家庭には入れず) 13.7% (n=364)	<ul style="list-style-type: none"> 全額を家庭に入れる 30.8% 一定額を家庭に入れる 42.3% 一定額を残し、残りを家庭に入れる 7.7% 自分で自由に使っている (家庭には入れず) 19.2% (n=26)	<ul style="list-style-type: none"> 全額を家庭に入れる 41.7% 一定額を家庭に入れる 22.9% 一定額を残し、残りを家庭に入れる 27.1% 自分で自由に使っている (家庭には入れず) 8.3% (n=48)

※右下にn数が記載されていないグラフは、各カテゴリの1番上に記載している総n数が該当します。

※n=30未満は参考値として掲載

■ お小遣い額がアップした理由・ダウンした理由

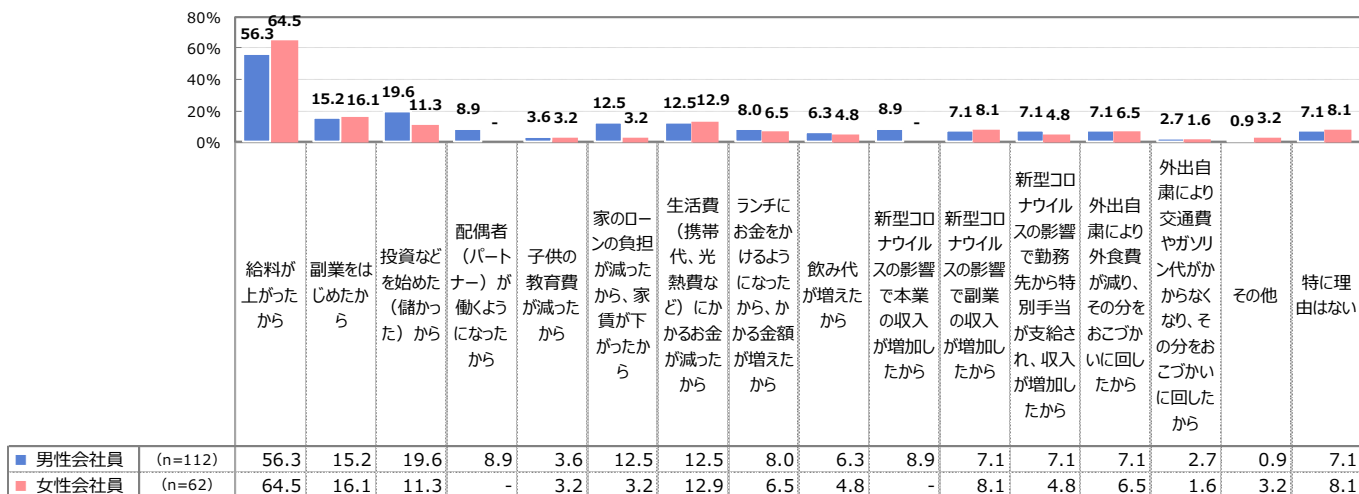
この1年でお小遣いがアップした方(男性会社員:8.9%、女性会社員7.4%)の理由が以下となります(P8参照)。

男性会社員におけるお小遣いがアップした理由は、「給料が上がったから」が56.3%で最も高く、「投資などを始めたから」19.6%、「副業を始めたから」15.2%が続く結果となりました。

女性会社員では男性会社員と同じく、「給料が上がったから」が64.5%で最も高く、「副業を始めたから」が16.1%となっており、男女ともに収入アップの理由として「副業」が上位に挙がる点が特徴的です。

設問：おこづかいがアップした要因としてあてはまるものをすべてお選び下さい。

※お小遣いがアップした方ベース



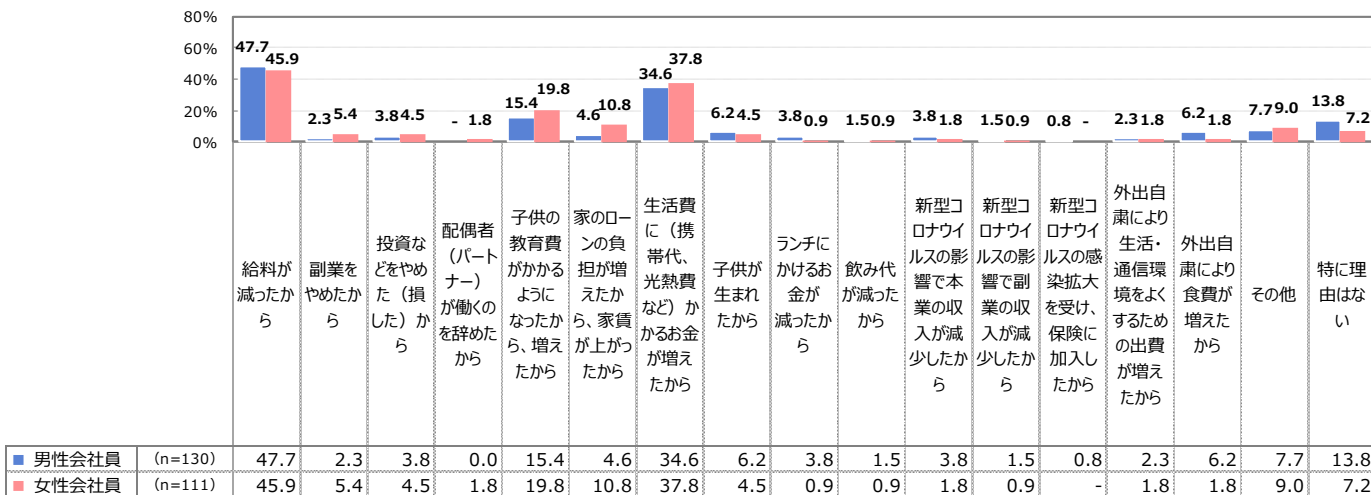
また、この1年でお小遣いがダウンした方(男性会社員:10.4%、女性会社員13.2%)の理由が以下となります(P8参照)。

男性会社員におけるお小遣いがダウンした理由は、「給料が減ったから」が47.7%で最も高く、「生活費にかかるお金が増えたから」34.6%、「子供の教育費がかかるようになったから、増えたから」15.4%が続く結果となりました。

また、女性会社員の理由は、男性会社員同様、「給料が減ったから」が45.9%で最も高く、「生活費にかかるお金が増えたから」37.8%、「子供の教育費がかかるようになったから、増えたから」19.8%と続いております。

設問：おこづかいがダウンした要因としてあてはまるものをすべてお選び下さい。

※お小遣いがダウンした方ベース



【2】 会社員の昼食事情

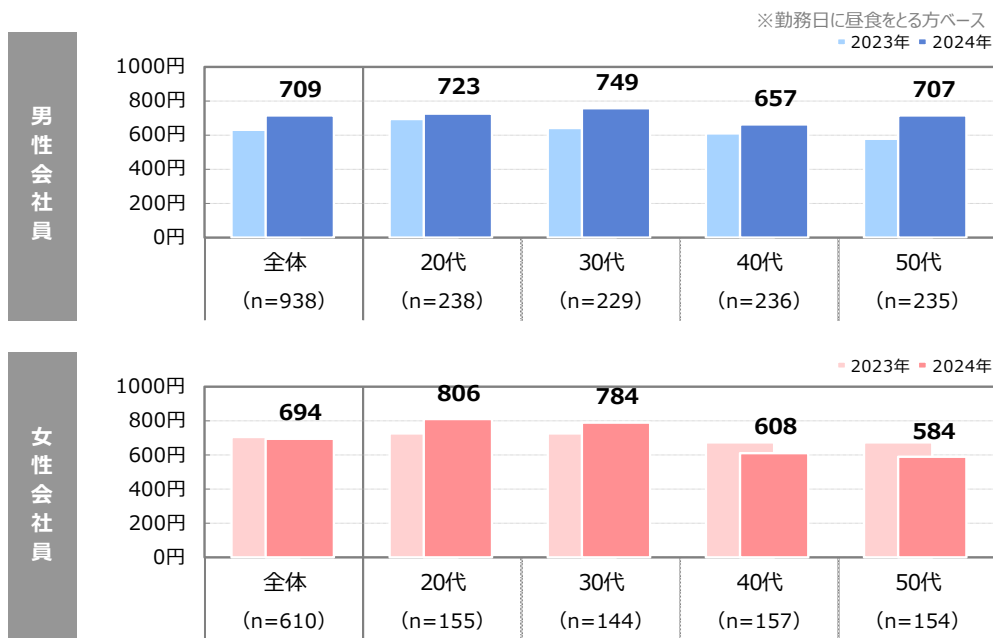
- ▶ 男性会社員の昼食代は昨年より85円増加し709円と、2010年の調査開始以来最も高い金額になった。女性会社員も694円と調査開始以来最も高い金額となった昨年の696円とほぼ同水準
- ▶ 男性・女性会社員ともに持参弁当の割合が最も高く、男性で36.7%、女性で53.5%を占める
- ▶ ランチタイムの過ごし方トップは男女ともに「インターネットの閲覧」となっている

■ 一日の平均昼食代

男性会社員の一日の昼食代は、昨年の624円から85円増加し、709円となりました。
年代別にみると、30代で749円と最も高くなっております。

女性会社員の一日の昼食代は、昨年の696円から2円減少し、694円となりました。
年代別にみると、20代で806円と最も高くなっております。

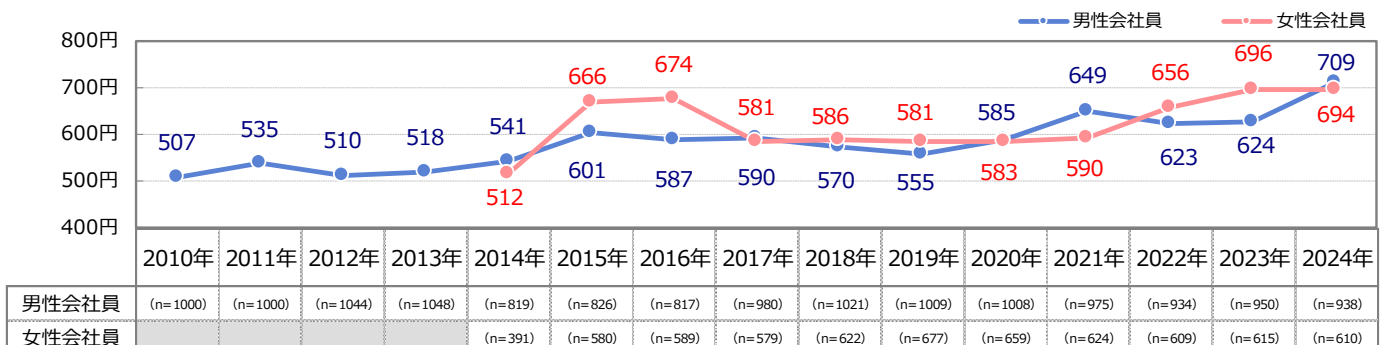
設問：昼食代(勤務日)は平均すると一回いくらですか？(弁当持参や、在宅勤務でお昼を作る時除く)



男性会社員における直近の昼食代の傾向は、昨年から85円上昇し、2010年の調査開始以来最も高い金額となっております。

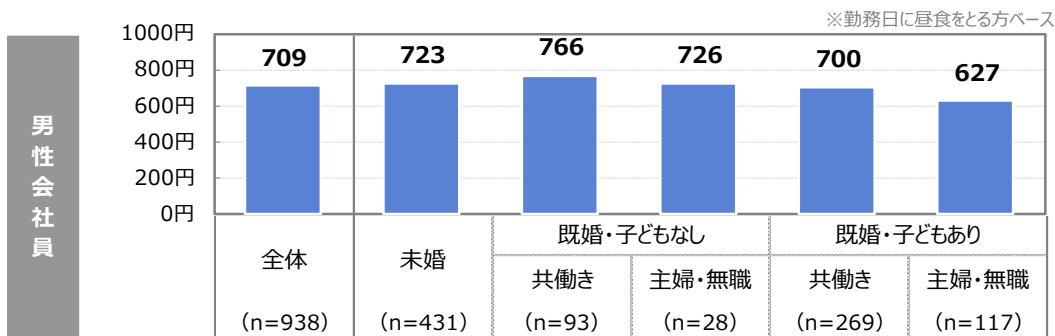
一方、女性会社員の平均昼食代は、調査開始以来最も高い金額となった昨年と、ほぼ同水準の694円でした。

■ 平均昼食代の時系列推移(2010年～2024年)



男性会社員の一日の昼食代をライフステージ別にみると、既婚・子どもなし・共働きが766円と最も高い金額となっております。既婚・子どもあり・主婦無職のみ627円と700円台を下回る結果となりました。

設問：昼食代(勤務日)は平均すると一回いくらですか？(弁当持参や、在宅勤務でお昼を作る時除く)

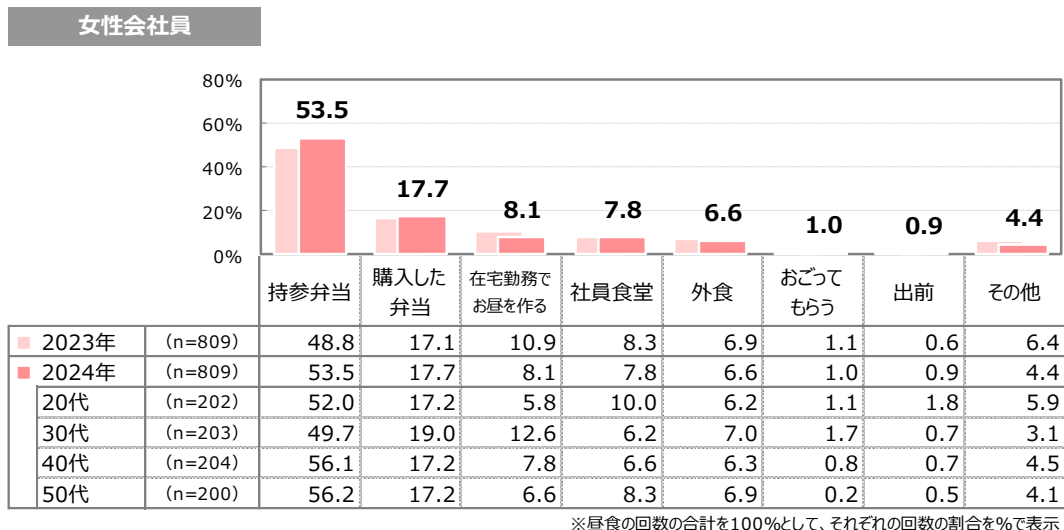
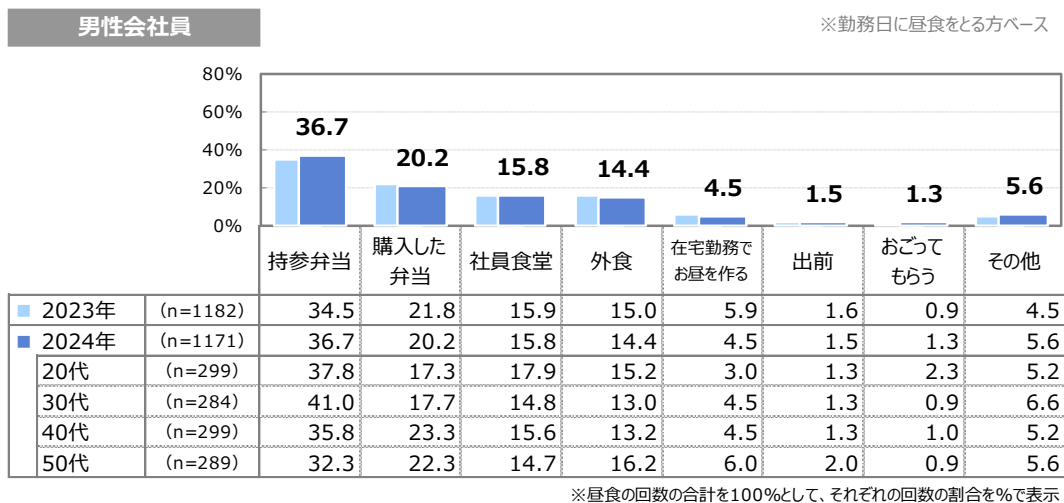


■ 昼食の内訳

男性会社員における、昼食の内訳トップ3は、「持参弁当」36.7%、「購入した弁当」20.2%、「社員食堂」15.8%の順で、昨年と比較して大きな変化はみられませんでした。

女性会社員では、「持参弁当」53.5%、「購入した弁当」17.7%、「在宅勤務でお昼を作る」8.1%の順となっております。

設問：あなたの平均的な一週間の昼食(勤務日)のそれぞれの回数の内訳を教えてください。

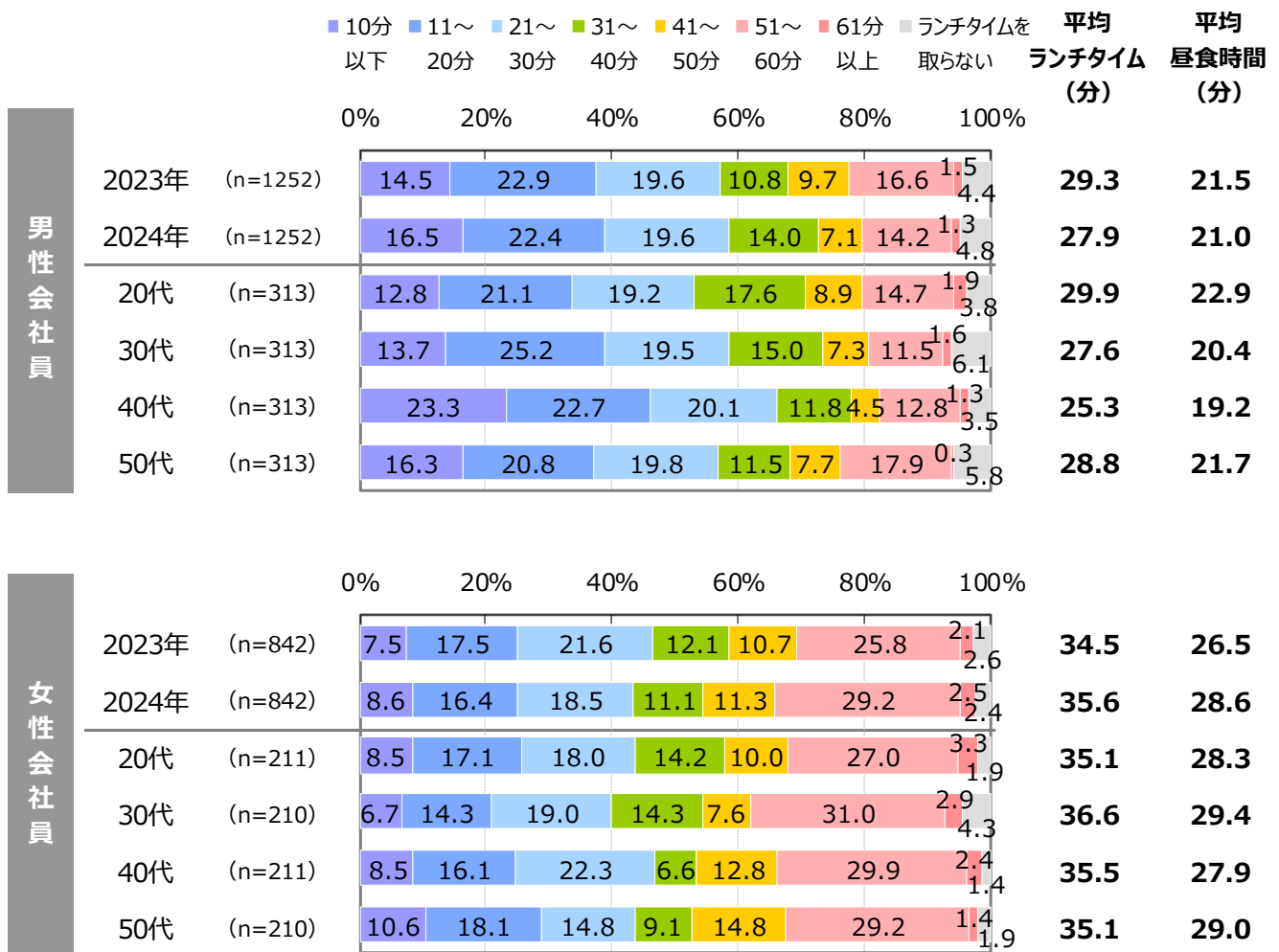


■ ランチタイムにかける時間

男性社員における、ランチタイム時間は平均27.9分。そのうち、昼食時間は平均21.0分となっております。なお、ランチタイム時間の回答は、「11～20分」が2割以上と比較的多いです。また、年代別にみると、40代では「10分以下」が他年代よりやや高い点が特徴です。

女性社員においては、「51～60分」が3割と多く、ランチタイム時間は平均35.6分、昼食時間は平均28.6分と、男性社員よりやや長い傾向がみられます。

設問：ランチタイム(昼食を含む勤務日のお昼休憩時間)にかける時間は平均して、どのくらいですか。
 昼食(勤務日)にかける時間は平均して、どのくらいですか。



■ ランチタイムの過ごし方

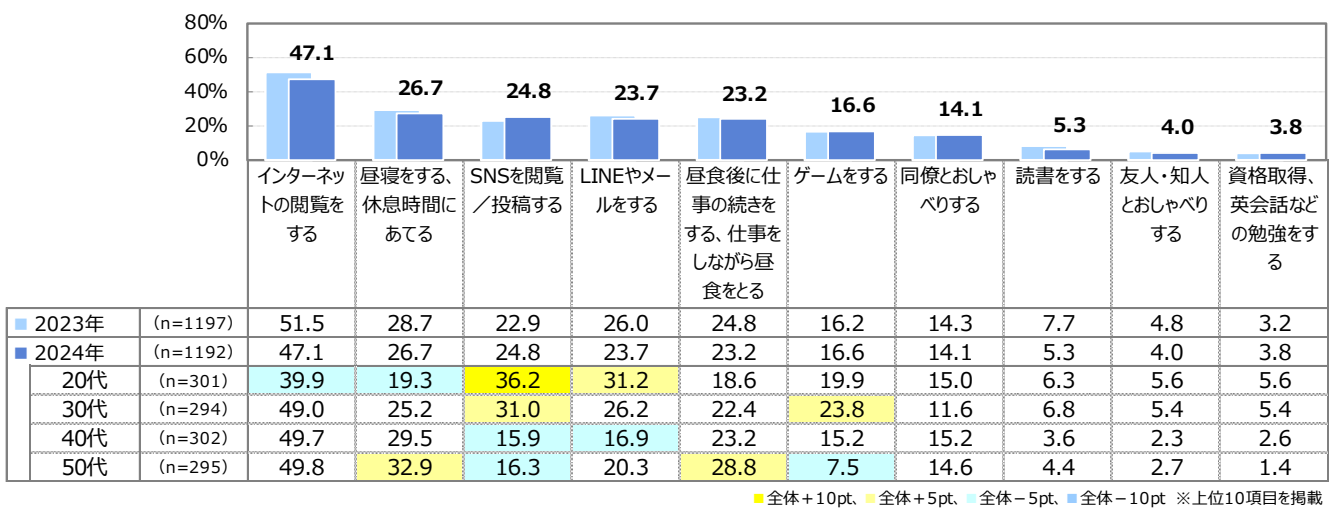
男性社員における、ランチタイムの過ごし方トップ3は、「インターネットの閲覧」47.1%、「昼寝や休息」26.7%、「SNSを閲覧/投稿する」24.8%となっております。20代では「SNSを閲覧/投稿する」が3割半ばと高い点が特徴です。

女性社員においても、男性同様、「インターネットの閲覧」48.6%がトップとなっております。しかし、「LINEやメールをする」42.9%、「SNSを閲覧/投稿する」40.4%、「同僚とおしゃべり」24.7%が続いており、男性社員とやや異なる傾向にあることがわかります。昨年と比較すると「インターネットの閲覧」は6pt減少しております。また、年代別では、30代以下で「SNSを閲覧/投稿する」が5割以上と高くなっております。

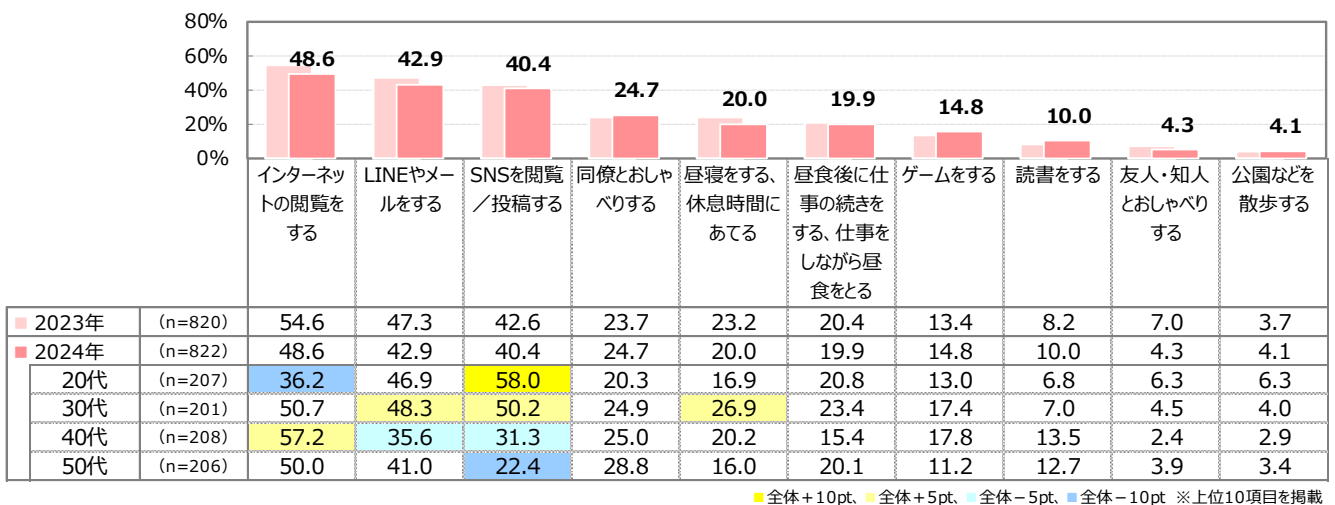
設問：あなたの「ランチタイムの過ごし方」として、あてはまるものを、全てお答えください。

※ランチタイム(お昼休憩)をとる方ベース

男性社員



女性社員



【3】 会社員の飲み事情

- ▶ 昨年と比べて飲酒している男性会社員の割合はほぼ同じで、仕事後の外、自宅含めた飲酒は71.0%となり、「お酒を飲まない人」は29.1%と約3人に1人は飲酒しない状況
- ▶ 外での1回の平均飲み代は男性社員が6,219円、女性社員の1回の飲み代は5,007円
- ▶ 1カ月の飲み回数は飲みに行く方、自宅で飲む方ともに昨年とほぼ同水準となっている

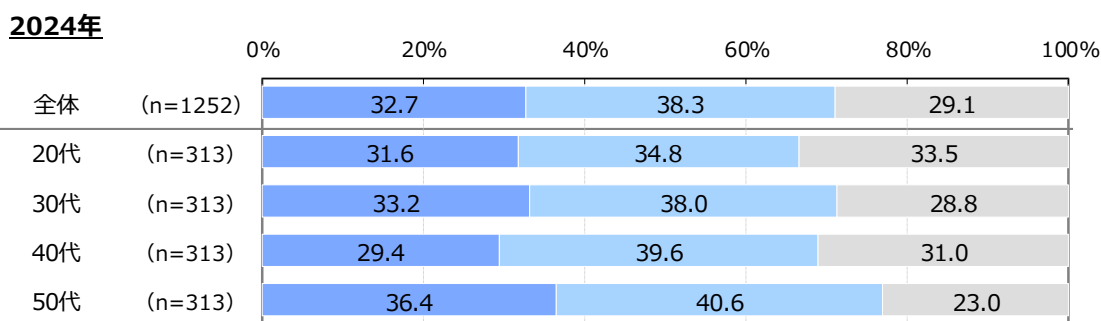
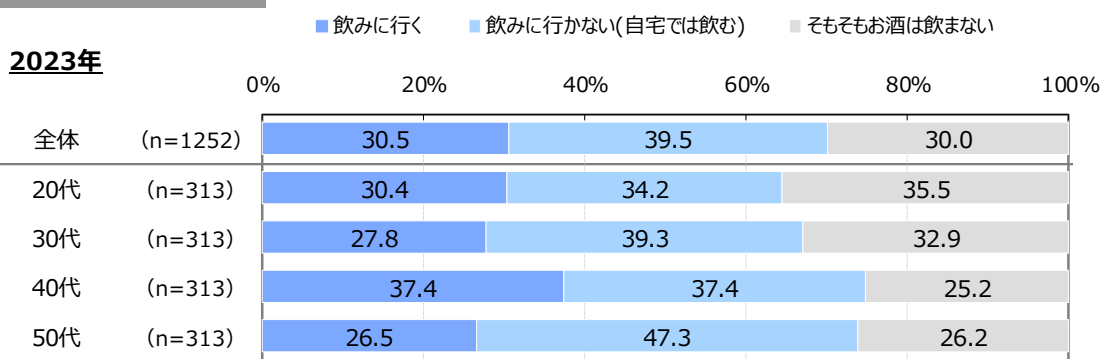
■ 仕事後の飲酒状況と1回あたりの飲み代

男性社員における、仕事終わりの飲酒状況は、「飲みに行く」が32.7%、外には飲みに行かないものの自宅では飲む、「飲みに行かない(自宅では飲む)」が38.3%を占めており、飲酒している方は71.0%にのびります。なお、昨年と比較すると、「飲みに行く」は2pt増加となりました。

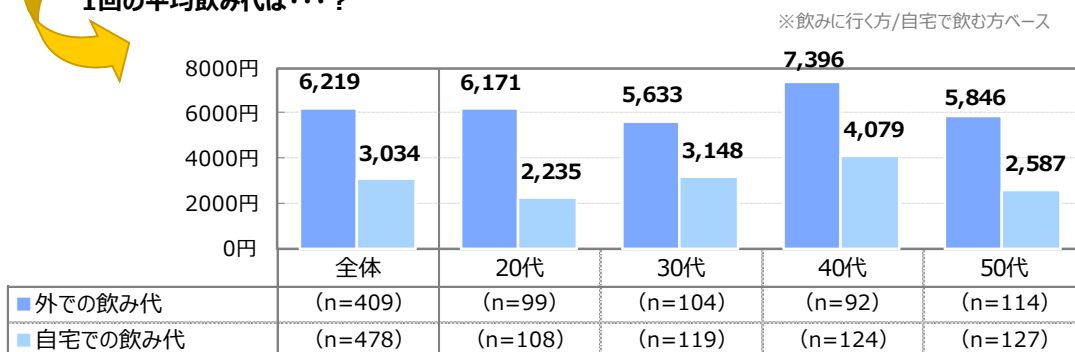
年代別では、50代で「飲みに行く」が最も高くなっております。外に飲みに行く方と自宅で飲む方の、1回あたりの飲み代を比較すると、外での飲み代が平均6,219円に対し、自宅での飲み代が平均3,034円と、3,185円の開きがみられます。

設問：仕事が終わった後、一カ月に平均何回くらいお酒を飲みに行きますか？
あなたの飲み代は平均すると一回いくらですか？

男性社員



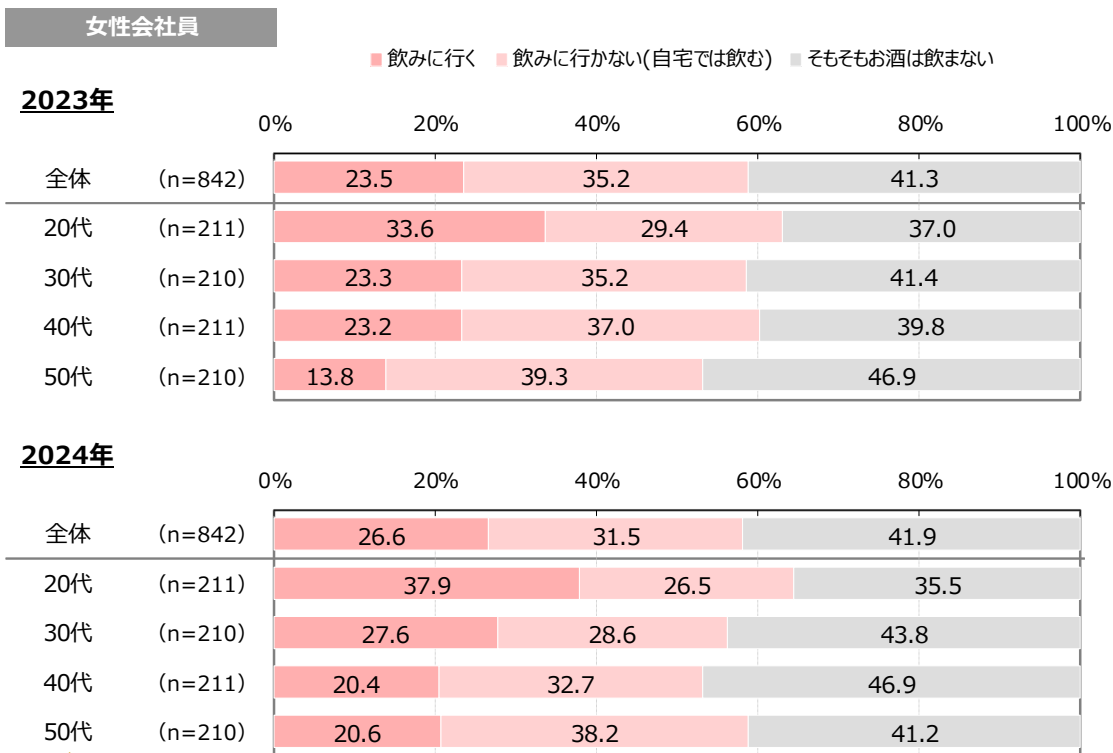
1回の平均飲み代は・・・？



女性社員における、仕事終わりの飲酒状況は、「飲みに行く」が26.6%、外には飲みに行かないものの自宅では飲む、「飲みに行かない(自宅では飲む)」は31.5%を占めており、飲酒している方は58.1%となっております。なお、昨年と比較すると、「飲みに行く」は3pt増加いたしました。

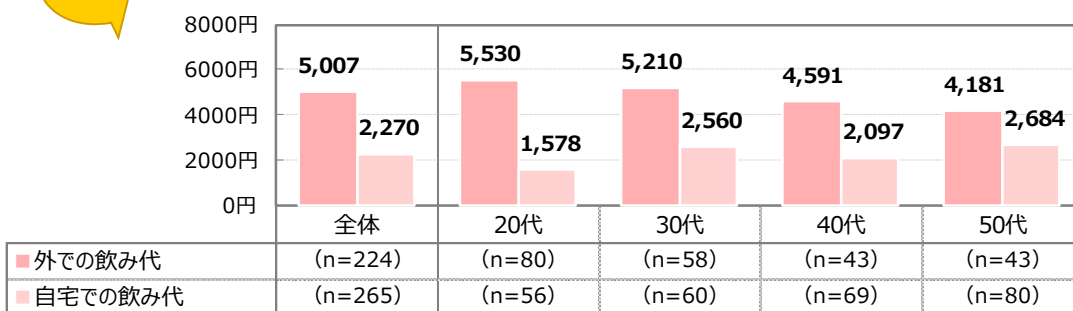
年代別では、20代で「飲みに行く」が最も高くなっております。

外に飲みに行く方と自宅で飲む方の、1回あたりの飲み代をみると、外での飲み代が平均5,007円に対し、自宅での飲み代が平均2,270円と、2,737円の開きがみられます。また、年代別では、50代で外での飲み代が低い点が特徴です。



1回の平均飲み代は・・・？

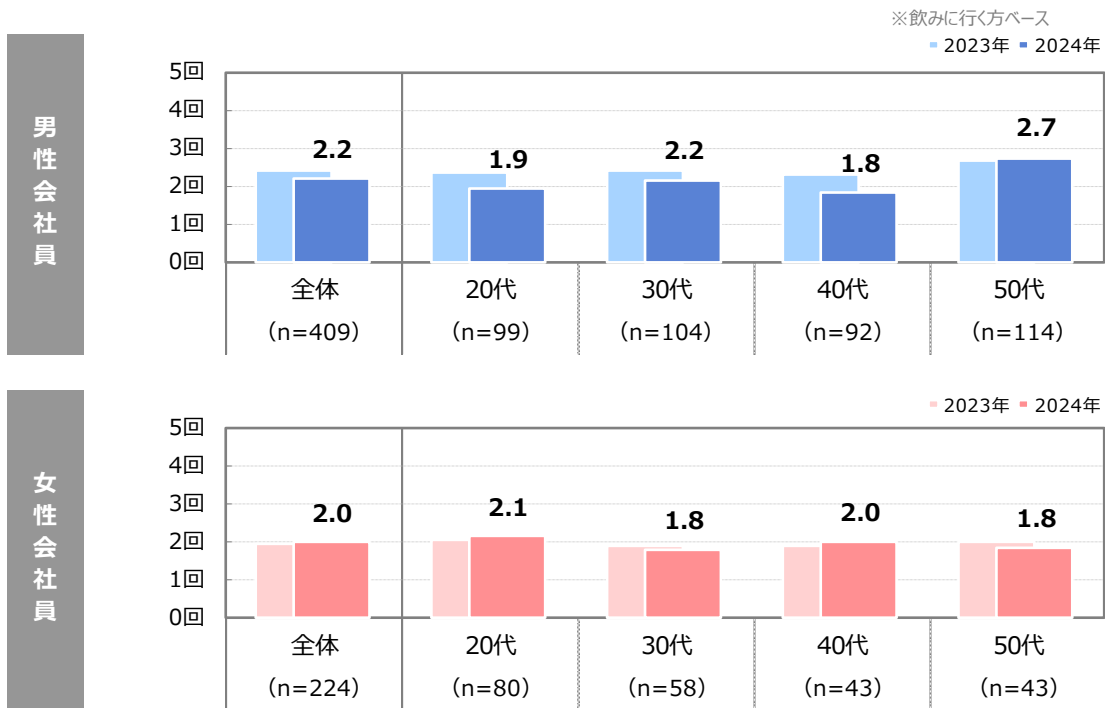
※飲みに行く方/自宅で飲む方ベース



■ 1カ月の飲み回数 ※飲みに行く方/自宅で飲む方ベース

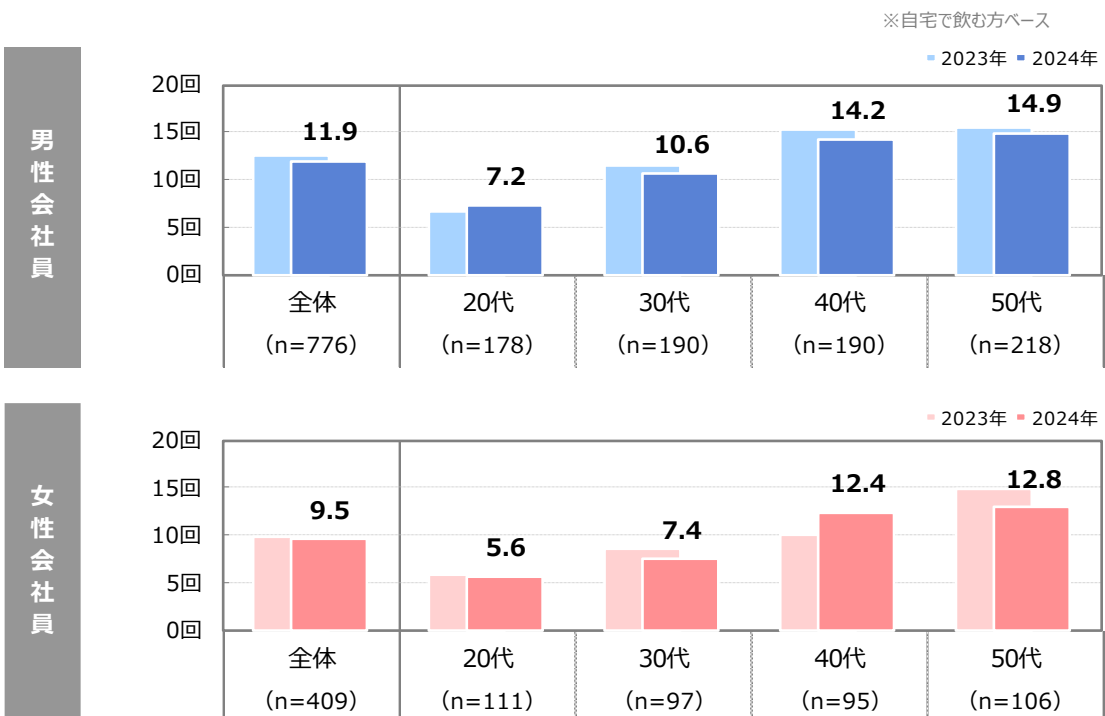
男性会社員の1カ月の平均外飲み回数は2.2回、女性会社員は2.0回と、昨年と比較して男性は減少、女性は同水準となっております。年代別にみると、男性会社員は、唯一、50代で飲み回数が昨年同水準となっておりますが、その他の年代ではいずれも減少しております。

設問：仕事が終わった後、一カ月に平均何回くらいお酒を飲みに行きますか？



1ヶ月の自宅での飲みの回数の平均は、男性会社員が11.9回、女性会社員が9.5回と、昨年と比較して男性は微減、女性は同水準となっております。年代別にみると、男性会社員の40代では自宅で飲む回数が減少しているが、女性会社員の40代では自宅で飲む回数が増加している点が特徴となります。

設問：1ヶ月あたり平均何回くらい自宅でお酒を飲みますか？

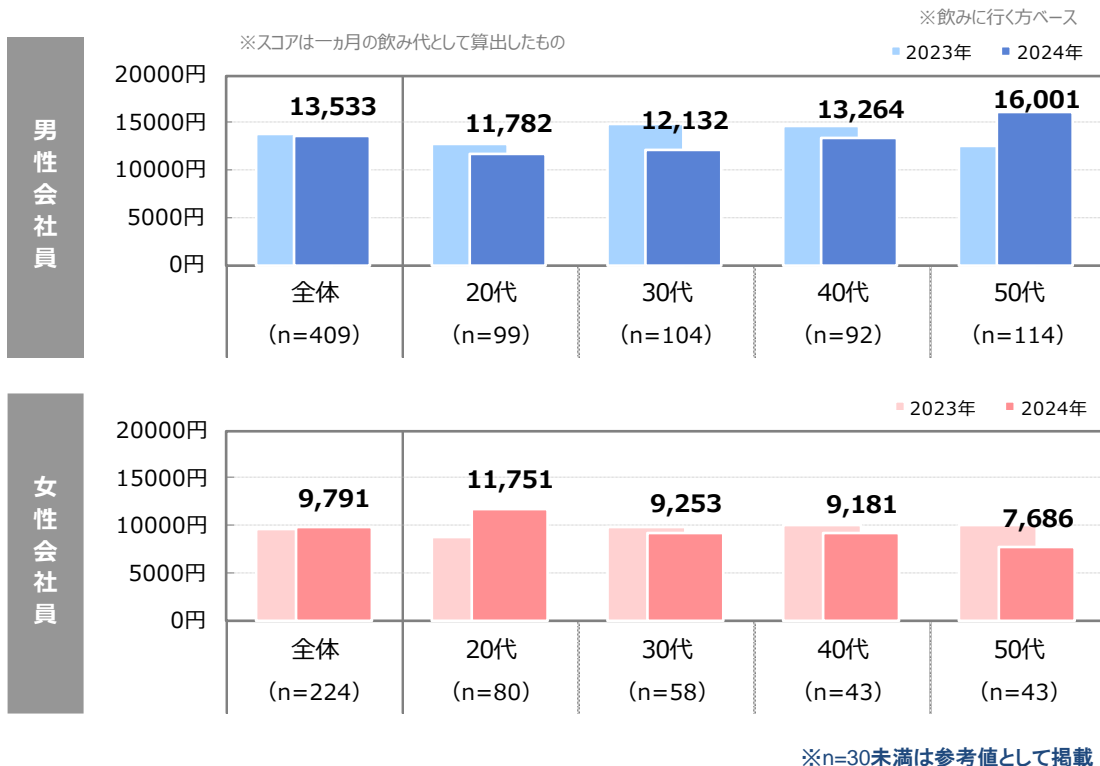


■ 1カ月の飲み代 ※飲みに行く方ベース

1回の飲み代と1カ月の飲み回数から算出した男性会員の1カ月の飲み代は、昨年より317円減少し、13,533円となりました。年代別にみると、20代から40代ではいずれも減少しておりますが、50代は3,000円以上の大幅増加をしている点が特徴となっております。

女性会社員は、男性会社員より3,742円低い9,791円という結果になりました。年代別にみると、昨年より20代では約3,000円も増加している点が特徴的です。

設問：仕事が終わった後、一カ月で平均何回くらいお酒を飲みに行きますか？
あなたの飲み代は平均すると一回いくらですか？



【4】 経済的なゆとり

- 経済的なゆとりについて、男性・女性会社員とも昨年より大きな変化はない
- お小遣い面からみて男性会社員の「ゆとりがある層」は、20代が多めで、個人年収は全体より57万円、世帯年収は82万円高い結果となる
- 女性会社員の「ゆとりがある層」も、20代が多めで、個人年収は全体より52万円、世帯年収は120万円高い結果となる

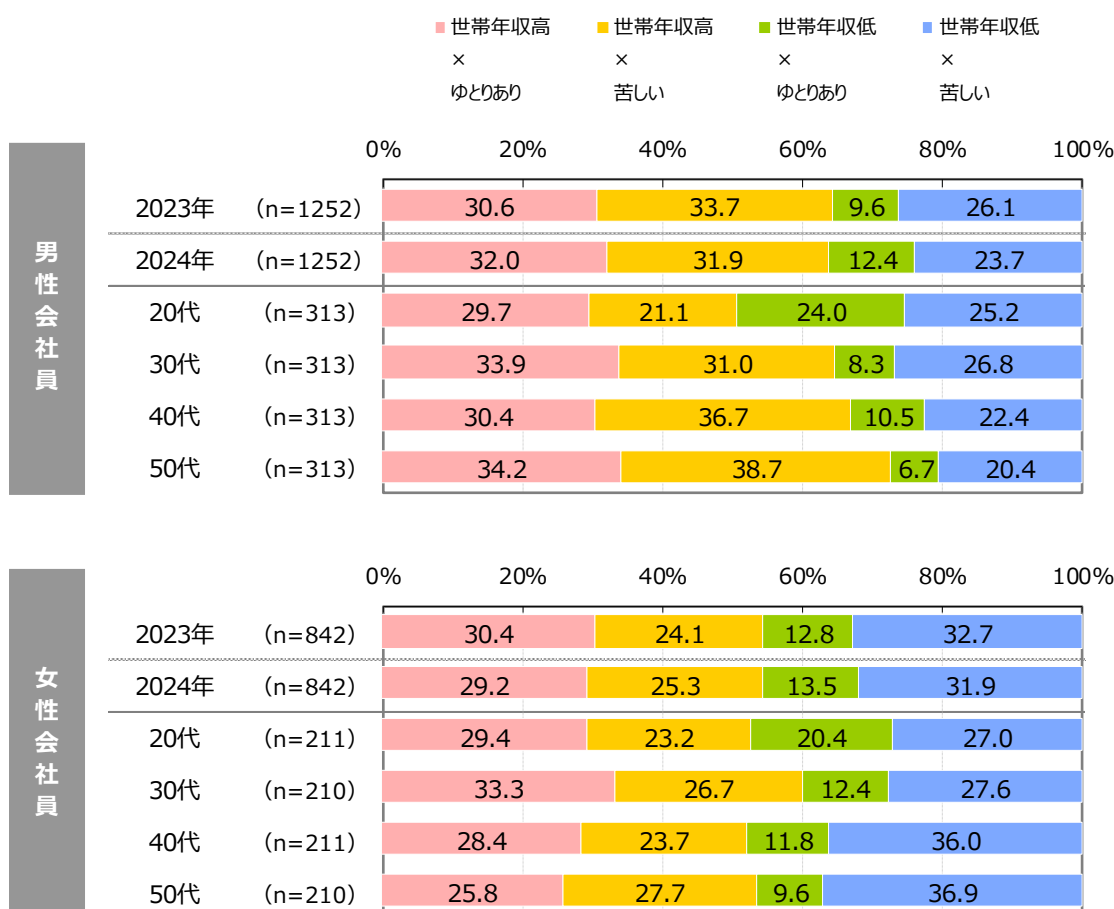
■ 経済的なゆとり

『世帯年収』と『日常生活のゆとり』から、経済的なゆとりを確認します。『世帯年収』は、500万円以上を“高”、500万円未満を“低”と定義し、『日常生活のゆとり』は、「大いにゆとりがある」+「まあまあゆとりがある」を“ゆとりあり”、「大変苦しい」+「やや苦しい」を“苦しい”と定義します。それぞれを掛け合わせ、経済的なゆとりにおいて、4層のグループを作成しました。

男性会社員では、「世帯年収高×ゆとりあり」が32.0%と最も多く、「世帯年収高×苦しい」が31.9%、「世帯年収低×苦しい」が23.7%で続きます。昨年と比較して、トップが「世帯年収高×苦しい」と「世帯年収高×ゆとりあり」で入れ替わっております。また「世帯年収低×ゆとりあり」がやや増加しております。また、年代別にみると、年代が上がるほど、「世帯年収高×苦しい」層の割合が高くなっている点が特徴的です。

女性会社員では、「世帯年収低×苦しい」が31.9%と最も多く、「世帯年収高×ゆとりあり」が29.2%と続きます。中でも40代から50代の「世帯年収低×苦しい」層が3割強にのぼる点が特徴となっております。

設問：“おこづかい”面からみて、この一年間のあなたの日常生活はいかがですか？



■ ゆとりがある層／ない層のプロファイル比較

お小遣い面からみて、「ゆとりがある層」と「ゆとりがない層」を、会社員全体と比較したものを以下に掲載します。ここから、「ゆとりがある層」と「ゆとりがない層」がどのような方なのかを確認します。

男性会社員の「ゆとりがある層」は、20代が多く、若年層寄りの傾向がみられます。また、全体と比較して、個人年収は57万円、世帯年収では82万円高い結果となり、収入自体の多さがわかります。一方、「ゆとりがない層」は、全体より40代、50代がやや多く、個人年収・世帯年収ともに、全体よりも低い結果でした。

女性会社員の「ゆとりがある層」は、20代が多く、また、個人年収、世帯年収については、男性会社員と同様に、ゆとりがある層で、ともに高い結果となっております。

	男性会社員 全体 (n=1252)	ゆとりがある層 (n=556)	ゆとりがない層 (n=696)
年齢			
年収	個人年収 529 万円 世帯年収 668 万円	個人年収 586 万円 世帯年収 750 万円	個人年収 484 万円 世帯年収 602 万円
家族構成			

	女性会社員 全体 (n=842)	ゆとりがある層 (n=360)	ゆとりがない層 (n=482)
年齢			
年収	個人年収 353 万円 世帯年収 640 万円	個人年収 405 万円 世帯年収 760 万円	個人年収 314 万円 世帯年収 550 万円
家族構成			

【5】お小遣いの使いみち、やりくり術

- ▶ お小遣いの使いみちトップ3は、男性会社員は「昼食代」が42.2%、「携帯電話代」が25.0%、「趣味の費用」が20.9%。女性会社員は「昼食代」が36.8%、「携帯電話代」が32.0%、「身だしなみのための費用」が31.7%
- ▶ 男性会社員の77.8%、女性会社員の87.8%がお小遣い面で何らかのやりくりを実施しており、具体的なやりくり術は男性会社員は「昼食費を安くする」が、女性会社員は「お弁当を持参」トップ
- ▶ 男性会社員は13.4%、女性会社員は11.2%は副収入があり、男女で差がみられる項目として男性会社員は「株式投資」が、女性会社員は「アルバイト・副業」が上位という結果に

■ 必要不可欠な使いみちと必要額(月額)

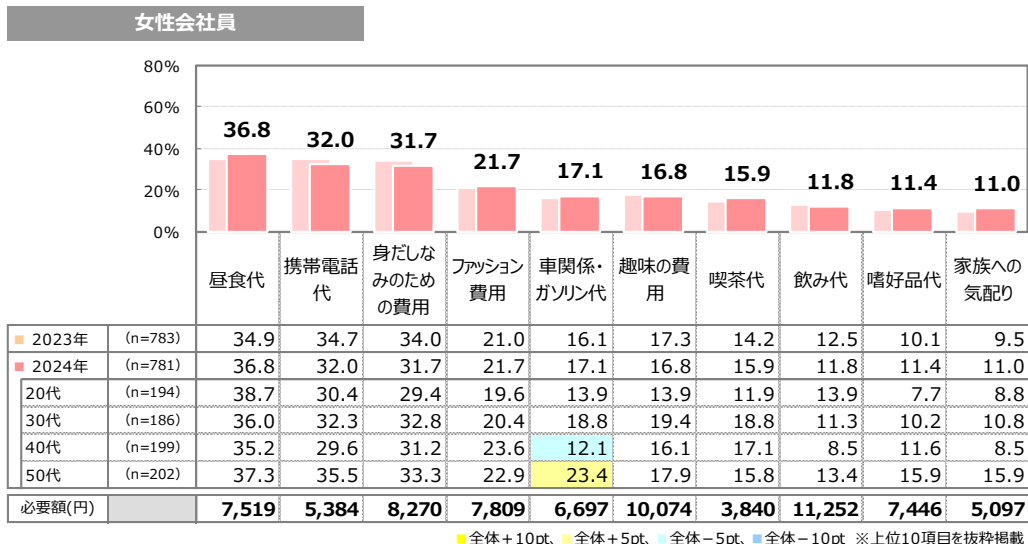
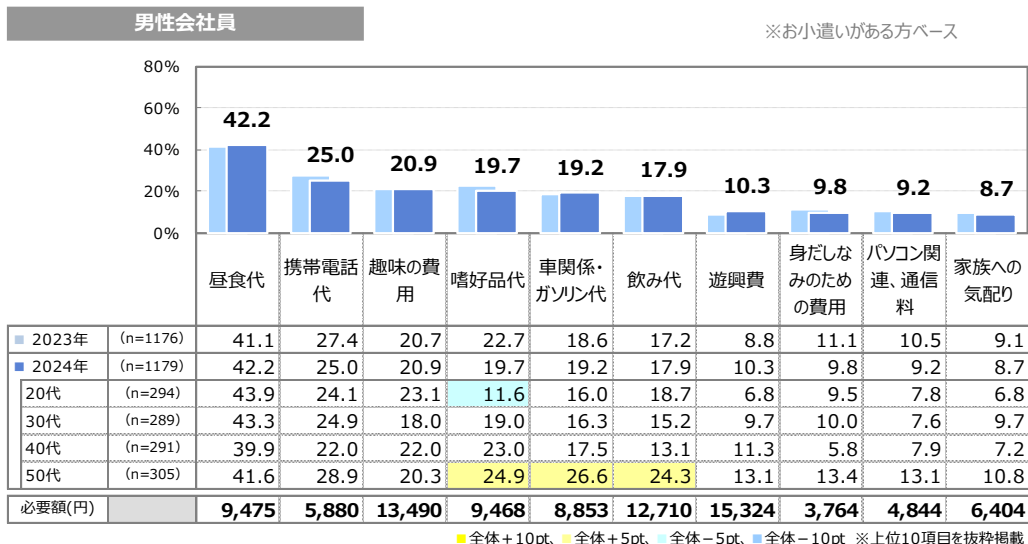
お小遣いの使いみちとして必要不可欠な項目を、上位10項目抜粋したものが以下となります。

男性会社員では、「昼食代」が42.2%と突出しており、昨年同様トップとなりました。

「昼食代」の必要額は平均9,475円です。なお、必要額が最も高い項目は、必要不可欠な項目順位としては7番目に位置する「遊興費」で15,324円となっております。

女性会社員は、「昼食代」が36.8%と最も高く、以下「携帯電話代」、「身だしなみのための費用」が続きます。必要額が最も高い項目は、「飲み代」で11,252円という結果となりました。

設問：あなたの“おこづかい”の使いみちとして、必要不可欠なものは何ですか？
また、その項目の月々に必要な金額をお答えください。



■ 月々の出費

月々の出費として使用している項目の上位10項目抜粋したものが以下となります。

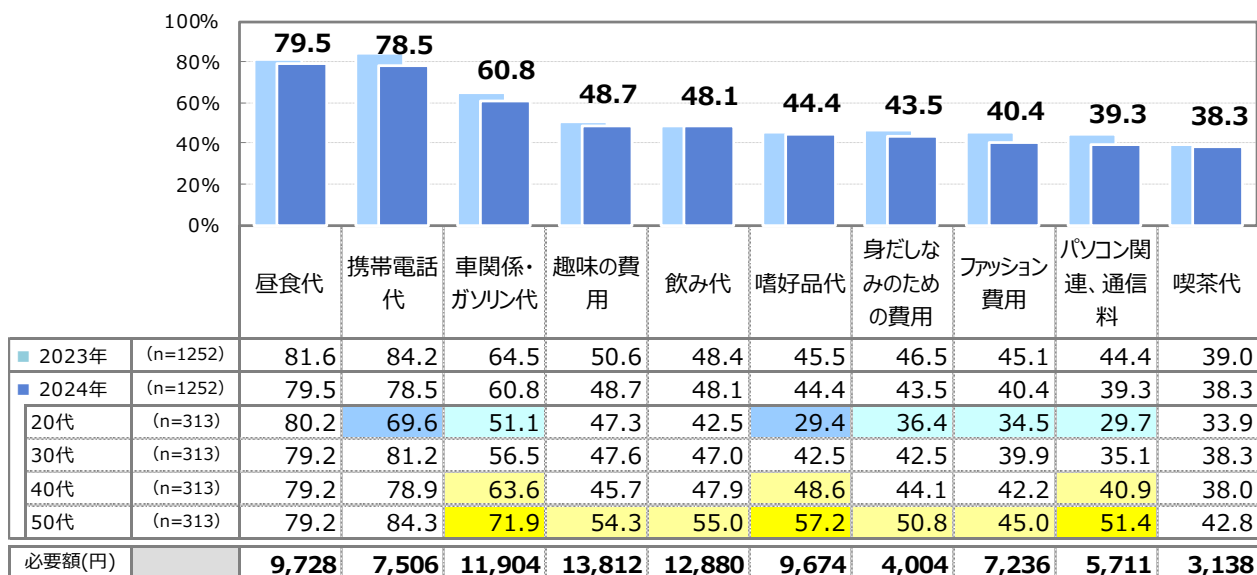
男性会社員では、「昼食代」が79.5%と最も高く、以下「携帯電話代」78.5%、「車関係・ガソリン代」60.8%が続きます。なお、必要額が最も高い項目は「趣味の費用」で13,812円となっております。

昨年と比較すると、「携帯電話代」「パソコン関連、通信料」などが減少している点が特徴となります。

女性会社員では、「携帯電話代」が87.2%と最も高く、以下「昼食代」81.7%、「身だしなみのための費用」74.8%、「ファッション費用」70.0%が続きます。男性会社員と比較して、「身だしなみのための費用」、「ファッション費用」が上位に来ており、「携帯電話代」と「昼食代」以外のお金のかけ方に違いがみられます。

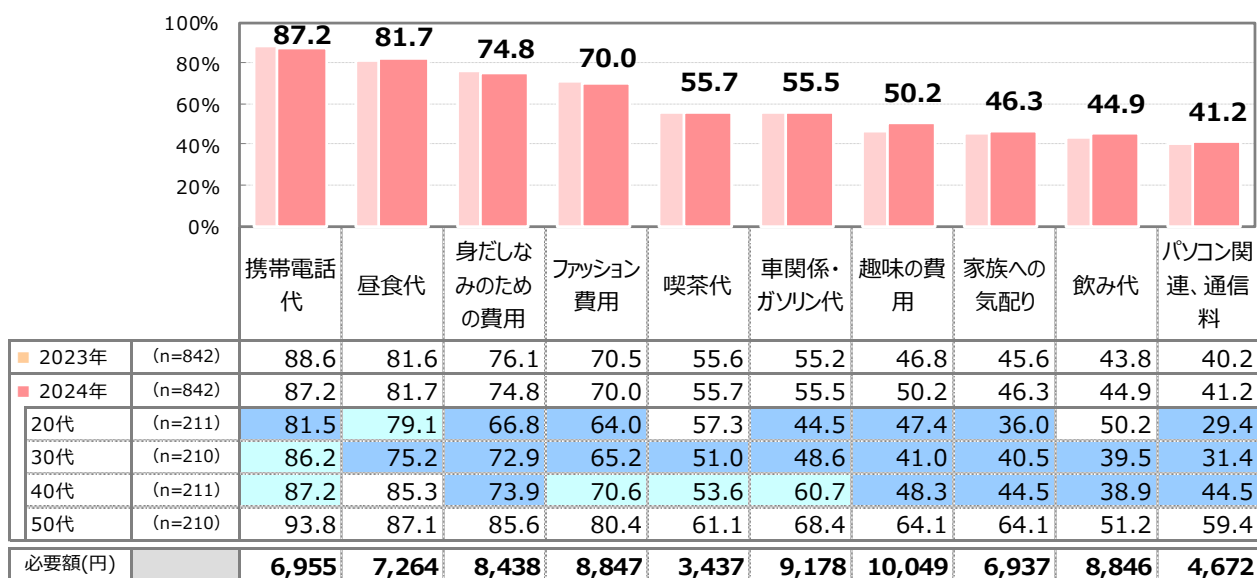
設問：あなたは、下記の項目に月々いくらかけていますか。

男性会社員



■ 全体+10pt、■ 全体+5pt、■ 全体-5pt、■ 全体-10pt ※上位10項目を抜粋掲載

女性会社員



■ 全体+10pt、■ 全体+5pt、■ 全体-5pt、■ 全体-10pt ※上位10項目を抜粋掲載

■ お小遣いのやりくりと節約術

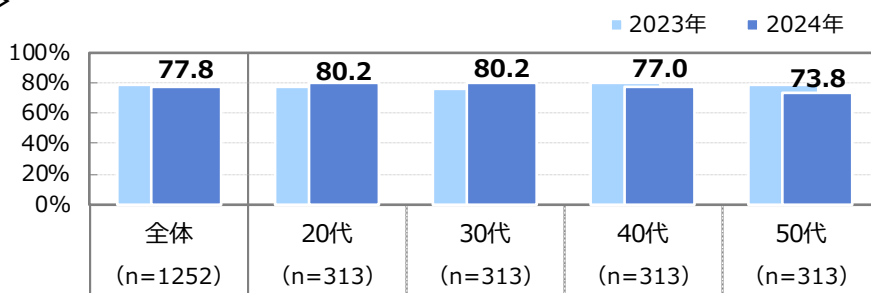
男性会社員における、お小遣いのやりくり実施率は77.8%と、多くの方が何かしらの節約策を実行していることがわかります。具体的なやりくり術には、「昼食費を安くする」、「水筒を持参する」、「外で飲む回数を減らす」などが上位に挙げられます。また、すべての年代に共通して「昼食費を安くする」が最も高くなっております。

女性会社員におけるやりくり実施率は、男性会社員よりも高く、87.8%の方が節約策を実行しております。具体的なやりくり術には、「弁当を持参する」、「水筒を持参する」、「昼食費を安くする」などが上位に挙げられます。また、男性会社員と比較して、洋服・靴に関する項目が上位に挙がる点が特徴的です。

設問：あなたは、“おこづかい”面でみて、ここ最近、やりくりをしていることがありますか。

男性会社員

<やりくり実施率>



1位 2位 3位 4位 5位

具体的なやりくり術

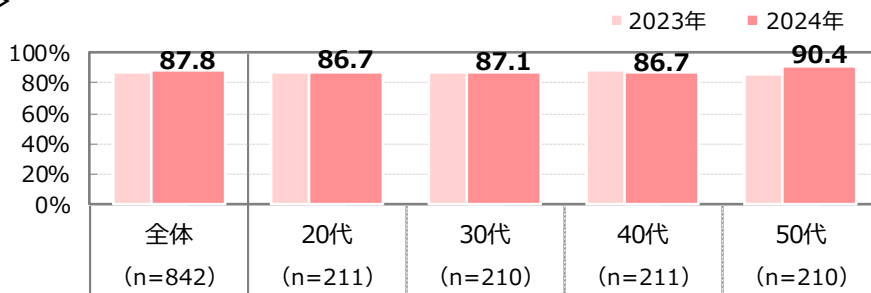
(%)

やりくり術	2023年	2024年
昼食費を安くするように努力している	34.0	31.0
水筒を持参するようにしている	26.1	24.9
外で飲む回数を減らしている	24.5	27.2
弁当を持参するようにしている	23.2	21.1
衝動買いをしないようにしている	22.9	23.6
少し遠くても歩くようにしている	21.2	20.8
タクシーなどに乗らないようにしている	16.9	17.9
洋服・靴など、安いものを買うようにしている	15.2	17.6

※上位8項目を抜粋掲載

女性会社員

<やりくり実施率>



1位 2位 3位 4位 5位

具体的なやりくり術

(%)

やりくり術	2023年	2024年
弁当を持参するようにしている	44.7	46.0
水筒を持参するようにしている	43.8	45.5
昼食費を安くするように努力している	40.9	38.7
衝動買いをしないようにしている	35.1	39.7
洋服・靴など、安いものを買うようにしている	30.7	30.3
洋服・靴などを買わないようにしている	27.1	30.1
少し遠くても歩くようにしている	26.4	30.3
ネット通販やバーゲンなどで価格が安いものを買うようにしている	24.6	29.7

※上位8項目を抜粋掲載

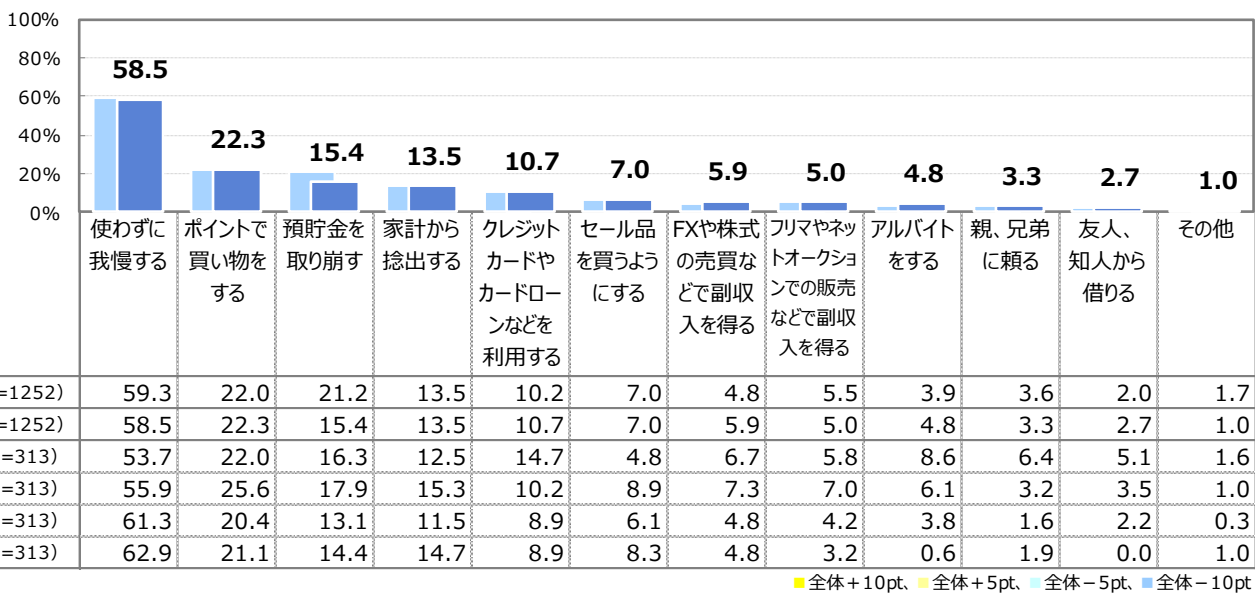
■ お小遣い不足時の対応

男性社員における、お小遣い不足時の対応では、「使わずに我慢する」が58.5%で突出しております。以降、「ポイントで買い物をする」、「預貯金を取り崩す」、「家計から捻出する」が続き、手持ちのお金で対応するケースが多くなっております。年代別にみても、どの年代でも「使わずに我慢する」が突出している点に変化はありません。

女性社員においても、男性社員と同様に、「使わずに我慢する」が54.9%と突出しております。以降、「ポイントで買い物をする」、「預貯金を取り崩す」、「家計から捻出する」が続く点も共通しております。「預貯金を取り崩す」は2割半ばとなり、男性社員よりも多い結果となりました。年代別で見ると、30代で「ポイントで買い物をする」が全体よりも高い点が特徴となります。

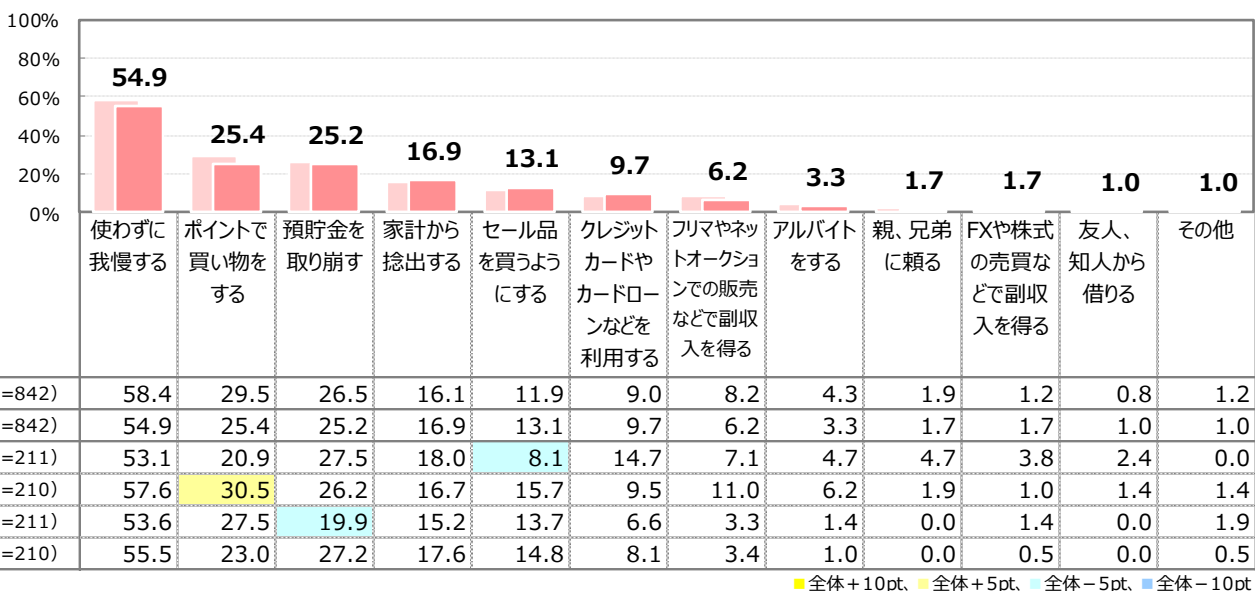
設問：“おこづかい”が足りなくなったとき、あなたはどのようにやりくりしていますか？

男性社員



■全体+10pt、■全体+5pt、■全体-5pt、■全体-10pt

女性社員



■全体+10pt、■全体+5pt、■全体-5pt、■全体-10pt

■ 副収入事情

男性会社員の13.4%は副収入があり、1ヵ月あたりに平均40,064円の収入額となっております。その収入源は、「株式投資」が44.0%と最も多く、「ポイント・アンケートサイト」、「アルバイト・副業」などが続きます。年代別にみると、副収入を得ている割合は、20代と30代で高く、1割半ばとなっております。また、収入源は30代から50代では「株式投資」がトップとなりますが、20代では「ポイント・アンケートサイト」がトップとなっております。

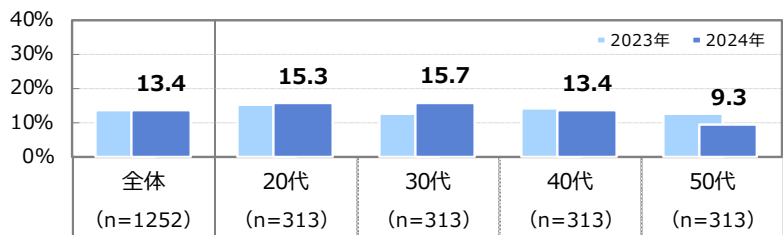
女性会社員は11.2%が副収入ありで、20代と30代が副収入を得ている割合が高いです。

※男性会社員の50代、女性会社員各年代の副収入額はサンプル数僅少のため参考値扱いとなります。

設問：あなたは給与以外に副収入がありますか？ある方は月にどのくらいの収入を得ていますか？
どのような方法で副収入を得ていますか？

男性会社員

<副収入を得ている割合>



副収入額と収入源

※副収入がある方ベース

1ヶ月当たりの副収入額	(n=167)	(n=48)	(n=49)	(n=42)	(n=28)
	40,064円	25,111円	32,690円	41,429円	76,554円

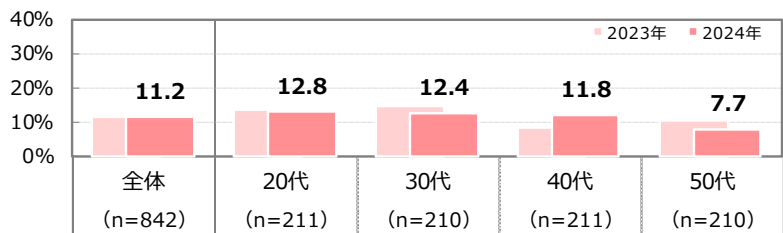
収入源	割合 (%)				
	1位	2位	3位	4位	5位
株式投資	44.0	35.4	51.0	47.6	41.4
ポイントサイト、アンケートサイト	42.9	41.7	51.0	38.1	37.9
アルバイト・副業	28.6	27.1	32.7	26.2	27.6
FX等の外国為替取引	13.7	18.8	12.2	9.5	13.8
ギャンブル (パチンコ、競馬、競艇など)	13.7	14.6	12.2	14.3	13.8
不動産投資 (売買収益、賃貸収入など)	10.1	12.5	8.2	7.1	13.8
フリーマーケット	8.9	12.5	8.2	7.1	6.9
ブログ、ホームページなどの開設による広告収入	8.3	12.5	12.2	4.8	0.0

※1位 2位 3位 4位 5位 ※上位8項目を抜粋

※n=30未満は参考値として掲載

女性会社員

<副収入を得ている割合>



副収入額と収入源

※副収入がある方ベース

1ヶ月当たりの副収入額	(n=93)	(n=27)	(n=26)	(n=24)	(n=16)
	36,781円	25,634円	23,269円	52,792円	53,441円

収入源	割合 (%)				
	1位	2位	3位	4位	5位
ポイントサイト、アンケートサイト	46.8	51.9	57.7	24.0	55.9
アルバイト・副業	44.6	40.7	34.6	52.0	55.9
株式投資	17.1	11.1	11.5	24.0	25.4
フリーマーケット	14.9	25.9	15.4	12.0	0.0
ネットオークション	10.6	18.5	7.7	12.0	0.0
不動産投資 (売買収益、賃貸収入など)	7.4	7.4	3.8	12.0	6.2
懸賞	7.4	3.7	15.4	8.0	0.0
ギャンブル (パチンコ、競馬、競艇など)	6.4	7.4	3.8	12.0	0.0

※1位 2位 3位 4位 5位 ※上位8項目を抜粋

※インターネットリサーチを行っているため、「ポイントサイト、アンケートサイト」が高くなっています。

※n=30未満は参考値として掲載

【6】 会社員の給与管理状況

- 既婚男性会社員の5割半ばが「お給料の“全額”を家庭に入れている」と回答。20代は他世代に比べて低く、一方で「お給料の中から“一定額”を家庭に入れている」は高い
- 女性会社員の既婚世帯は、男性会社員に比べて全額を家庭に入れる割合が低く33.5%
- 共働き世帯(子あり)の給与管理状況では、男性会社員では50.4%が「配偶者が管理し、お小遣いを渡す」となり、女性会社員はその割合が1割強と自分で給与管理する割合が高い

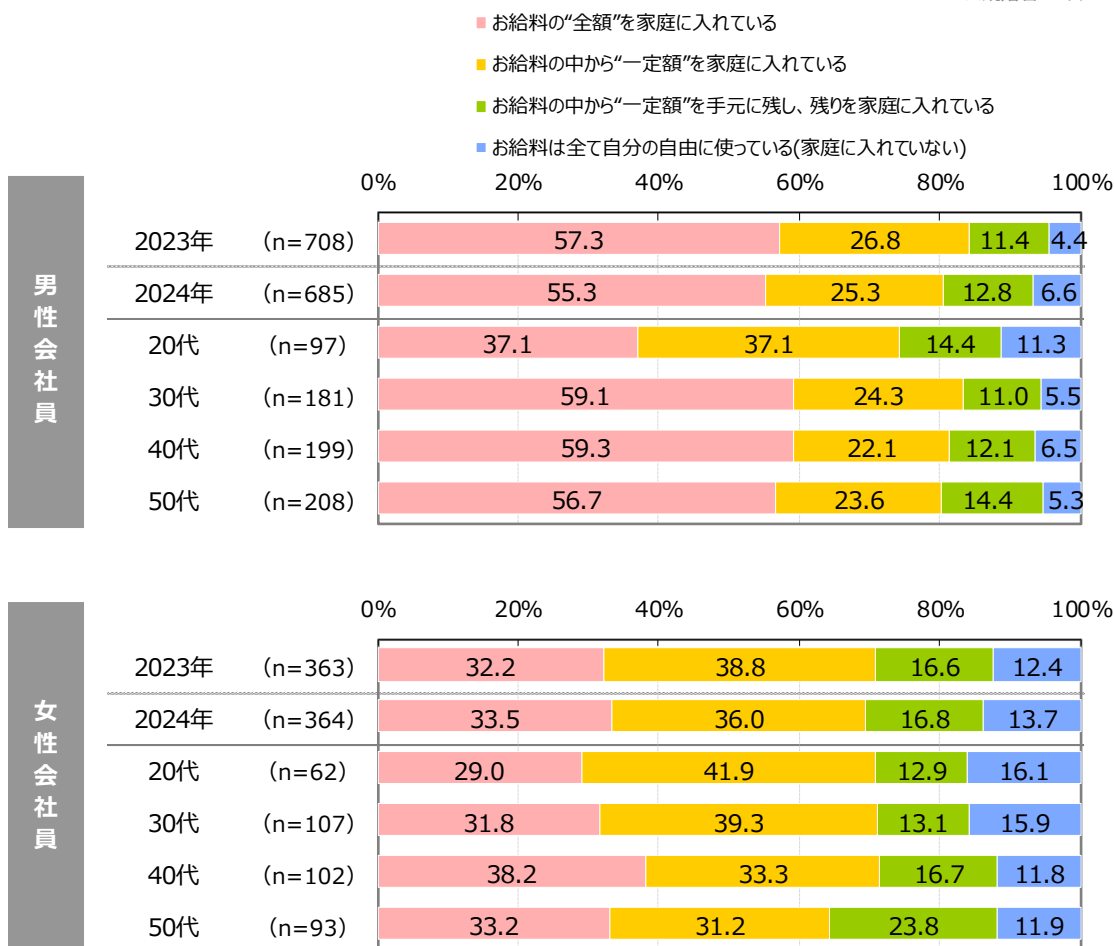
■ 給与管理状況

男性会社員の既婚世帯では、55.3%が「お給料の“全額”を家庭に入れている」という結果で、昨年と同様、5割以上がお小遣い制であることが分かります。年代別にみると、若年層で「お給料の“全額”を家庭に入れている」割合が低く、20代で最も低くなっている点が特徴です。

女性会社員の既婚世帯では、「お給料の中から“一定額”を家庭に入れている」が36.0%で最も高く、男性会社員と比べて全額を家庭に入れている割合は低くなっております。

設問：あなたのお給料は、どのようにして管理していますか。

※既婚者ベース



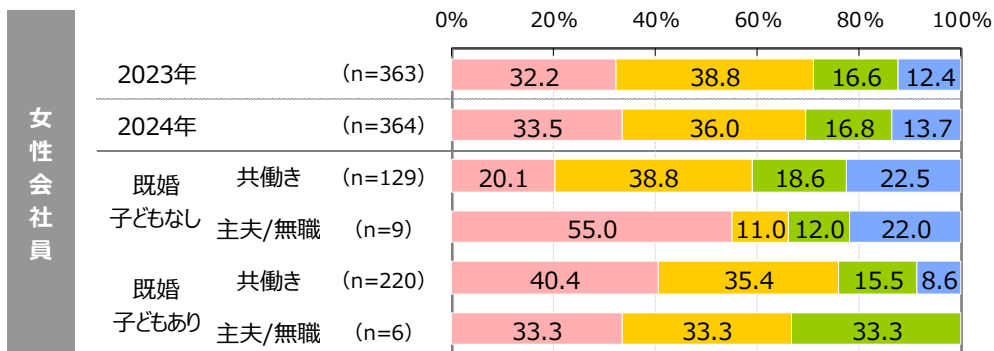
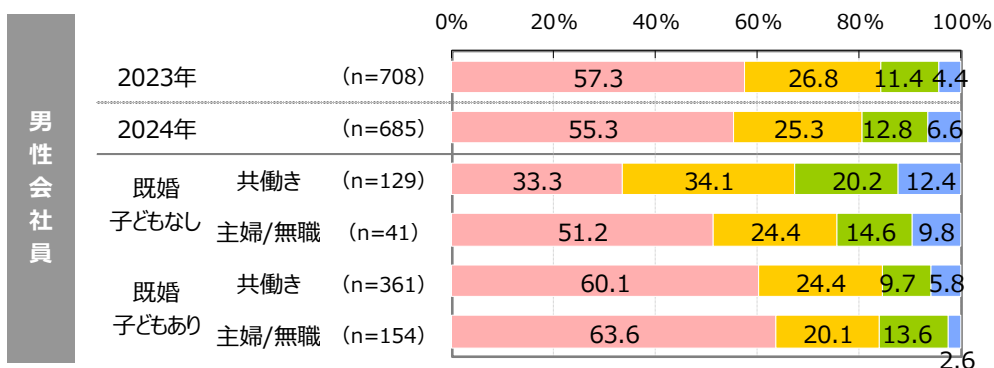
男性社員の給与管理状況をライフステージ別にみると、DINKS世帯(既婚・子どもなし・共働き)は、「お給料は“全額”を家庭に入れている」が33.3%にとどまり、全額を家庭に入れる方は全体よりも22pt低くなっております。

女性社員でも、DINKS世帯(既婚・子どもなし・共働き)は、「お給料は“全額”を家庭に入れている」が20.1%にとどまり、全額を家庭に入れる方は全体よりも13pt低くなっております。

設問：あなたのお給料は、どのようにして管理していますか。

※既婚者ベース

- お給料の“全額”を家庭に入れている
- お給料の中から“一定額”を家庭に入れている
- お給料の中から“一定額”を手元に残し、残りを家庭に入れている
- お給料は全て自分の自由に使っている(家庭に入れていない)



※n=30未満は参考値として掲載

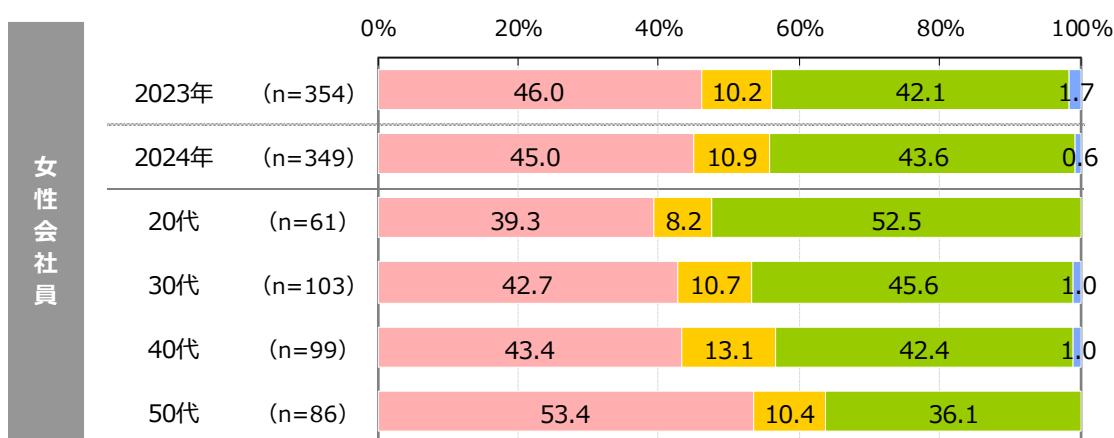
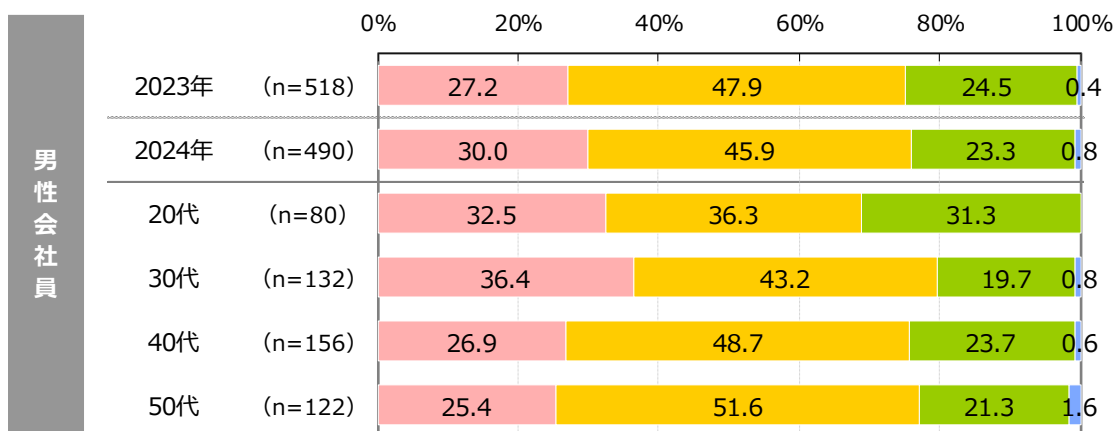
共働き世帯の給与管理状況を見ると、男性会社員では45.9%が「配偶者(パートナー)が管理し、あなたに生活費やお小遣いを渡す」という結果となりました。また、「あなたが管理し、配偶者(パートナー)に生活費やお小遣いとして渡す」が3割、「配偶者(パートナー)とは別々で管理している」が2割となっております。年代別にみると、20代と30代では「あなたが管理し、配偶者(パートナー)に生活費やお小遣いとして渡す」割合が高くなっており、3割を超えている点が特徴です。また、20代では「配偶者(パートナー)とは別々で管理している」も3割を超えております。

女性会社員では、「あなたが管理し、配偶者(パートナー)に生活費やお小遣いとして渡す」が45.0%、「配偶者(パートナー)とは別々で管理している」が43.6%で、男性会社員と比べて自身、もしくは別々で管理する割合が高くなっております。また、若年層ほどパートナーと別々で管理する割合が高くなっております。

設問：あなたと配偶者(パートナー)のお給料は、どのように管理していますか。

※既婚共働きベース

- あなたが管理し、配偶者(パートナー)に生活費やお小遣いとして渡す
- 配偶者(パートナー)が管理し、あなたに生活費やお小遣いとして渡す
- 配偶者(パートナー)とは別々で管理している
- その他



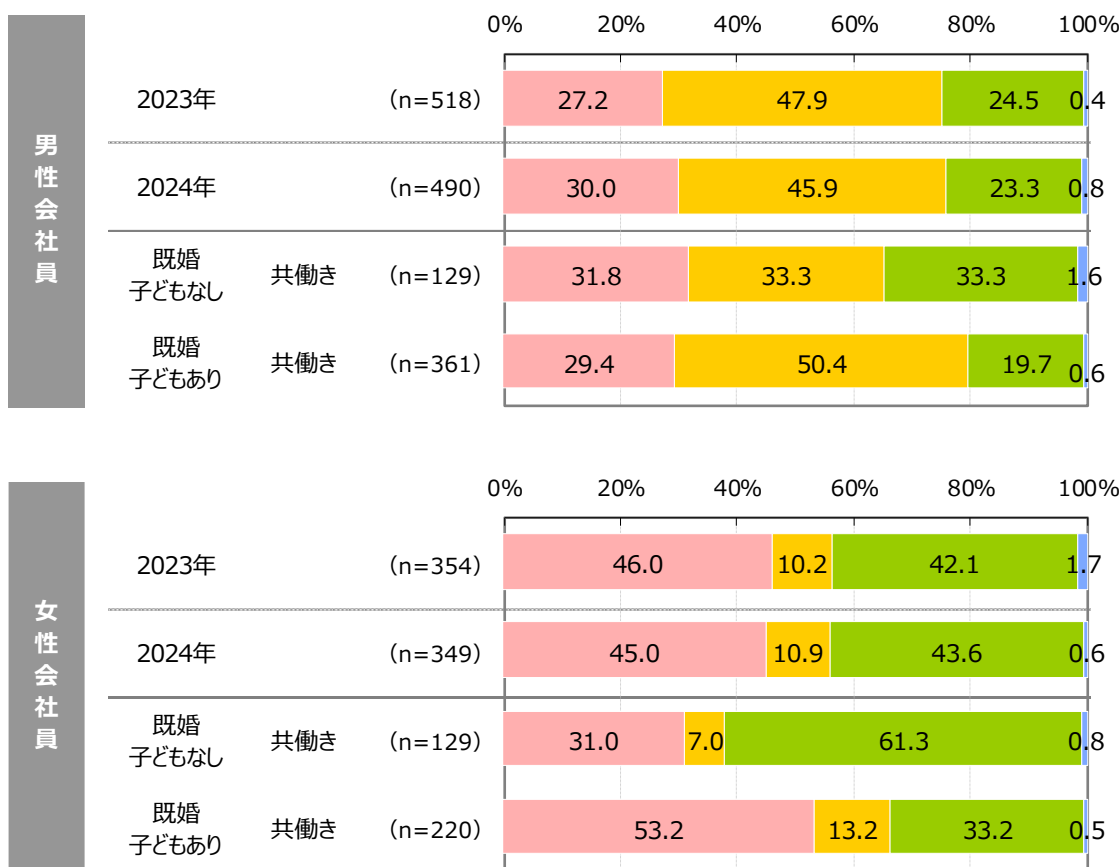
共働き世帯の給与管理状況をライフステージ別にみると、男性会社員の子どもなし世帯では、「配偶者(パートナー)とは別々で管理している」が33.3%と高い割合を占めます。一方、子どもあり世帯では、「配偶者(パートナー)が管理し、あなたに生活費やお小遣いとして渡す」が50.4%と最も高い割合を占める点が特徴です。

女性会社員では、子どもあり世帯で「あなたが管理し、配偶者(パートナー)に生活費やお小遣いとして渡す」が53.2%と半数以上を占める点が特徴です。子どもができることにより、別財布から、女性が管理する同じ財布へ移行する様子が窺えます。

設問：あなたと配偶者(パートナー)のお給料は、どのように管理していますか。

※既婚共働きベース

- あなたが管理し、配偶者(パートナー)に生活費やお小遣いとして渡す
- 配偶者(パートナー)が管理し、あなたに生活費やお小遣いとして渡す
- 配偶者(パートナー)とは別々で管理している
- その他



【7】 支払い手段

- ▶ 男性会社員の昼食代の支払い手段としては、「現金」がトップで65.3%、ついで「QRコード決済」が36.9%、「クレジットカード」が36.2%と続く
- ▶ 女性会社員も同様の順番で、「現金」がトップで64.0%、ついで「QRコード決済」が46.8%、「クレジットカード」が36.8%と続く

■ 昼食代・飲み代の支払い手段

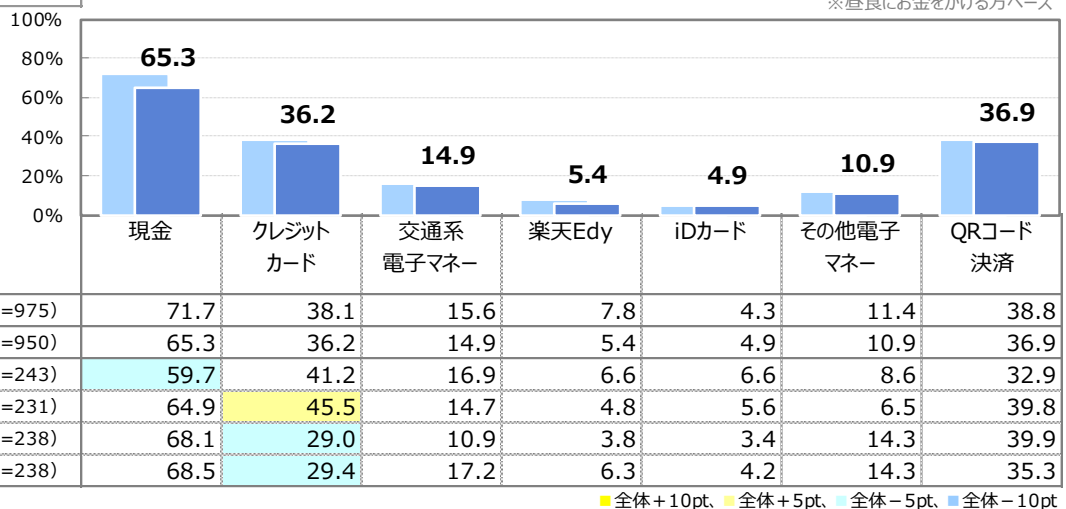
男性会社員の昼食代の支払い方法は、「現金」が65.3%で最も高く、「QRコード決済」36.9%、「クレジットカード」36.2%が続きます。「現金」については、昨年から6ptの減少となっております。年代別でみると、「クレジットカード」は30代以下が4割以上と高い点の特徴となっております。

また、飲み代の支払い方法も昼食代と同様に、「現金」が77.8%と最も高く、「クレジットカード」52.3%、「QRコード決済」35.0%が続きます。飲み代に関して「クレジットカード」は、昨年から8ptの減少となっております。また、昼食代と比較して、「クレジットカード」が16pt高い点の特徴的です。

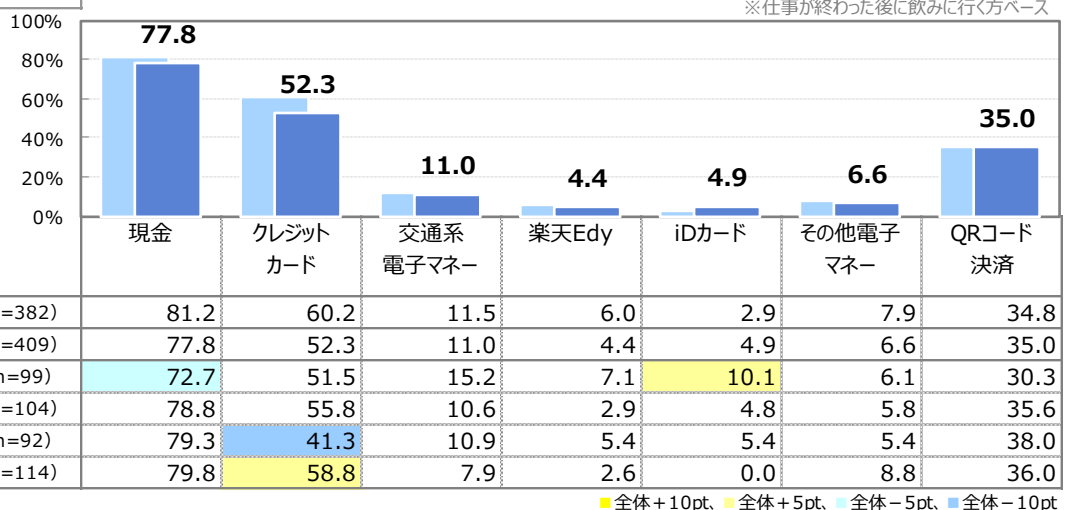
設問：以下の項目について、あなたの支払手段としてあてはまるものをすべてお選びください。

男性会社員

昼食代



飲み代



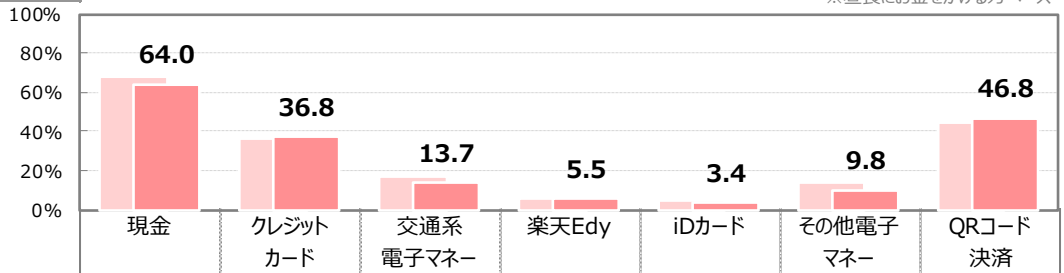
女性会社員の昼食代の支払い方法は、「現金」が64.0%で最も高く、「QRコード決済」46.8%、「クレジットカード」36.8%が続きます。「現金」については、昨年から4ptの減少となっております。

また、飲み代の支払い方法は、「現金」が73.7%で最も高く、「クレジットカード」50.9%、「QRコード決済」45.1%が続きます。昨年と比較して、「現金」が10pt、「クレジットカード」が7pt減少している点の特徴となっております。

女性会社員

昼食代

※昼食にお金をかける方ベース

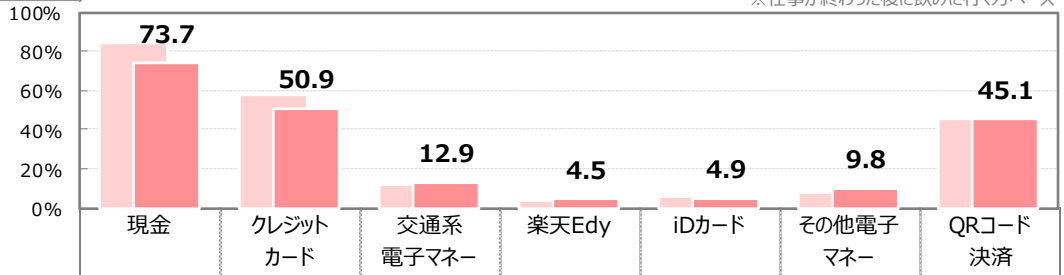


年次	人数	現金	クレジットカード	交通系電子マネー	楽天Edu	iDカード	その他電子マネー	QRコード決済
2023年	(n=627)	68.2	36.1	16.5	5.9	4.1	13.6	44.5
2024年	(n=623)	64.0	36.8	13.7	5.5	3.4	9.8	46.8
20代	(n=158)	63.3	35.4	16.5	3.8	3.8	5.1	46.2
30代	(n=147)	62.6	40.8	15.0	4.8	4.1	8.8	53.7
40代	(n=160)	60.0	41.3	11.9	8.1	2.5	11.9	48.8
50代	(n=158)	70.1	29.9	11.5	5.1	3.2	13.3	38.8

■全体+10pt、■全体+5pt、■全体-5pt、■全体-10pt

飲み代

※仕事が終わった後に飲みに行く方ベース



年次	人数	現金	クレジットカード	交通系電子マネー	楽天Edu	iDカード	その他電子マネー	QRコード決済
2023年	(n=198)	83.8	58.1	12.1	3.5	6.1	8.1	44.9
2024年	(n=224)	73.7	50.9	12.9	4.5	4.9	9.8	45.1
20代	(n=80)	75.0	47.5	12.5	3.8	6.3	7.5	50.0
30代	(n=58)	79.3	50.0	15.5	6.9	5.2	10.3	44.8
40代	(n=43)	62.8	62.8	20.9	4.7	2.3	16.3	51.2
50代	(n=43)	74.6	46.4	2.3	2.3	4.6	6.9	30.5

■全体+10pt、■全体+5pt、■全体-5pt、■全体-10pt

【8】 投資状況

- ▶ 男性会社員は、現在投資しているものとして「投資信託」が37.7%とトップ、次いで「株式投資」31.9%、「暗号資産」12.2%、「外貨預金」11.3%と続く
- ▶ 女性会社員では、「投資信託」が36.6%で最も高く、「株式投資」15.7%が続く
- ▶ 検討中の投資としては、20代男性会社員がどの投資の種類においても高めの傾向

■ 投資状況

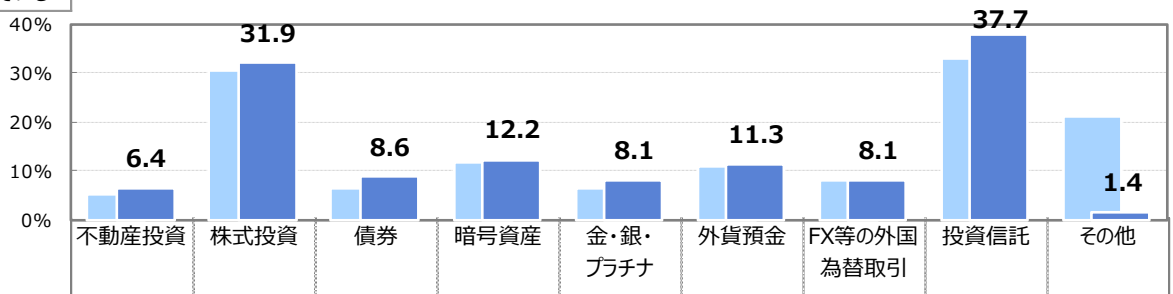
男性会社員の投資状況は、現在、投資しているものを見ると、「投資信託」が37.7%で最も高く、「株式投資」31.9%、「暗号資産」12.2%、「外貨預金」11.3%と続きます。その他のものはいずれも1割未満にとどまります。昨年と比較して「投資信託」は5pt増加しました。

また、検討中のものについては、「投資信託」が15.6%で最も高く、「金・銀・プラチナ」14.0%、「株式投資」13.3%と続きます。年代別では、50代で全般的にスコアが低い点が特徴となっております。

設問：以下の項目についての、あなたの現在の投資状況について当てはまるものをお答えください。

男性会社員

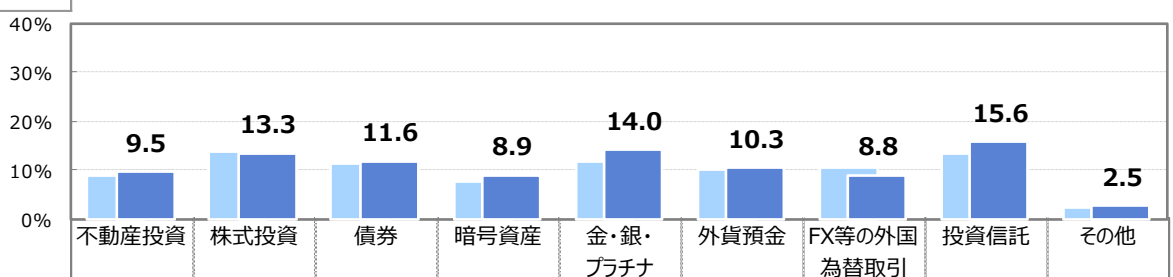
現在、投資をしている



■ 2023年	(n=1,252)	5.1	30.5	6.2	11.7	6.2	10.6	8.1	32.9	21.2
■ 2024年	(n=1,252)	6.4	31.9	8.6	12.2	8.1	11.3	8.1	37.7	1.4
■ 20代	(n=313)	11.2	28.1	10.9	17.6	10.5	13.4	9.6	40.3	2.6
■ 30代	(n=313)	6.4	33.2	10.5	14.7	9.3	11.2	9.9	45.0	2.6
■ 40代	(n=313)	4.2	33.9	6.4	9.9	6.4	8.0	6.4	35.1	0.3
■ 50代	(n=313)	3.8	32.3	6.7	6.7	6.1	12.8	6.4	30.4	0.3

■ 全体+10pt、■ 全体+5pt、■ 全体-5pt、■ 全体-10pt

検討中



■ 2023年	(n=1,252)	8.8	13.7	11.3	7.6	11.8	10.1	10.2	13.2	2.2
■ 2024年	(n=1,252)	9.5	13.3	11.6	8.9	14.0	10.3	8.8	15.6	2.5
■ 20代	(n=313)	14.1	16.6	14.7	12.8	17.6	13.7	12.8	20.4	4.8
■ 30代	(n=313)	11.5	13.7	12.1	9.3	13.4	10.9	8.3	15.0	3.2
■ 40代	(n=313)	8.9	14.4	11.8	9.3	16.3	10.5	9.6	16.3	1.3
■ 50代	(n=313)	3.5	8.6	7.7	4.2	8.6	6.1	4.5	10.5	0.6

■ 全体+10pt、■ 全体+5pt、■ 全体-5pt、■ 全体-10pt

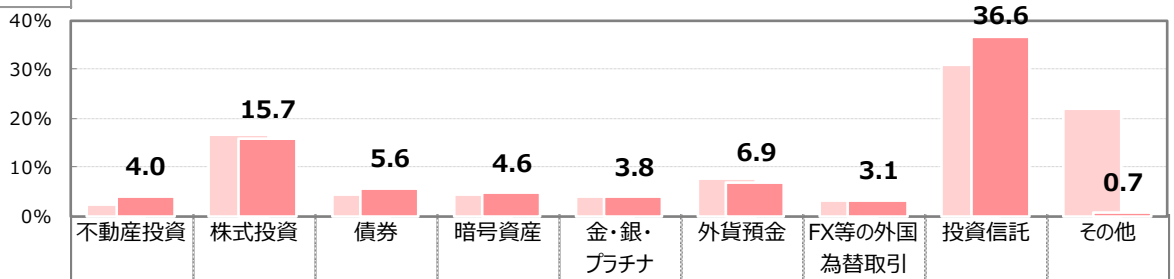
女性会社員の投資状況は、現在、投資しているものを見ると、「投資信託」が36.6%で最も高く、「株式投資」15.7%が続きます。女性会社員で2番目に多い「株式投資」は男性会社員より16pt下回ります。年代別で見ると、40代の「投資信託」は4割近くと高い点が特徴となっております。

また、検討中のものについては、現在、投資しているものと同様、「投資信託」が14.5%で最も高く、「株式投資」12.8%が続きます。昨年調査と比較すると、全般的にスコアがやや増加している傾向がみられます。

設問：以下の項目についての、あなたの現在の投資状況について当てはまるものをお答えください。

女性会社員

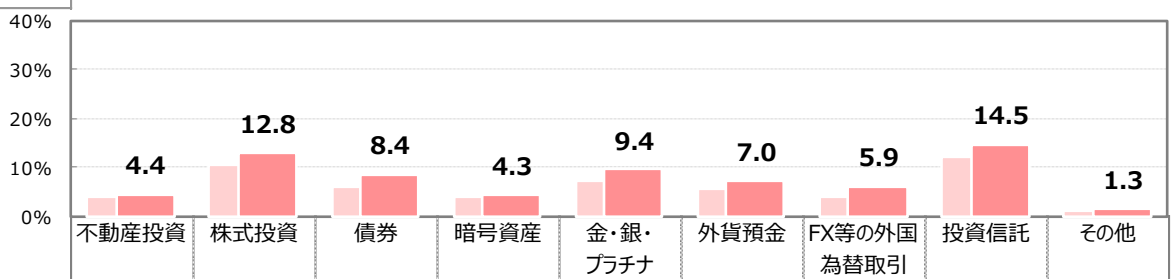
現在、投資をしている



		不動産投資	株式投資	債券	暗号資産	金・銀・プラチナ	外貨預金	FX等の外国為替取引	投資信託	その他
■ 2023年	(n=842)	2.3	16.7	4.3	4.4	4.0	7.5	3.0	30.7	21.8
■ 2024年	(n=842)	4.0	15.7	5.6	4.6	3.8	6.9	3.1	36.6	0.7
	20代 (n=211)	6.6	15.2	7.1	8.1	5.7	6.2	6.6	35.5	1.9
	30代 (n=210)	5.2	14.8	3.8	6.7	4.3	6.2	1.0	35.2	0.0
	40代 (n=211)	2.8	16.1	5.7	2.4	1.9	7.1	3.8	39.3	0.9
	50代 (n=210)	1.4	16.8	5.8	1.4	3.4	8.1	1.0	36.3	0.0

■全体+10pt、■全体+5pt、■全体-5pt、■全体-10pt

検討中



		不動産投資	株式投資	債券	暗号資産	金・銀・プラチナ	外貨預金	FX等の外国為替取引	投資信託	その他
■ 2023年	(n=842)	4.0	10.2	6.1	3.7	7.3	5.5	3.8	12.1	1.0
■ 2024年	(n=842)	4.4	12.8	8.4	4.3	9.4	7.0	5.9	14.5	1.3
	20代 (n=211)	4.7	15.6	9.5	5.2	9.5	8.1	7.1	20.9	3.8
	30代 (n=210)	3.3	11.9	7.1	5.2	7.1	6.2	6.7	11.0	1.0
	40代 (n=211)	6.2	13.3	8.1	3.3	11.8	5.2	5.7	13.7	0.0
	50代 (n=210)	3.3	10.5	9.1	3.3	9.1	8.6	4.3	12.6	0.5

■全体+10pt、■全体+5pt、■全体-5pt、■全体-10pt

【9】 新NISAについて

- 新NISAがスタートしたことは、男性・女性会社員ともに約8割が「知っている」
- 「新NISAを知っており、現在投資を行っている」と回答した人のうち、男性・女性会社員ともに約4割が「新NISA開始前と比べて、月々の投資金額が増加した」
- 「新NISAを知っているが、現在投資を行っていない」と回答した人のうち、男性・女性会社員ともに約4割が「新NISA口座で投資を開始したい」

■ 1か月あたりにかけている投資金額

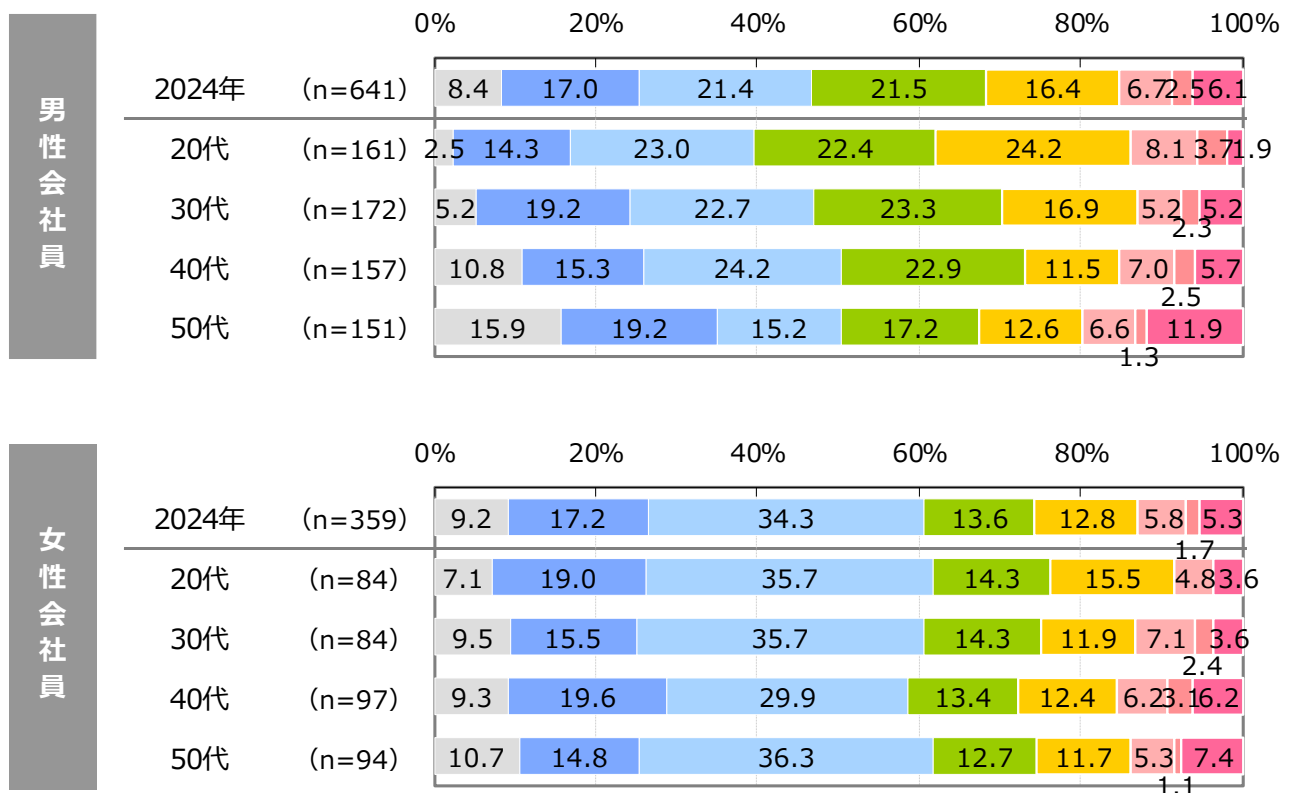
1か月あたりにかけている投資金額は、男性会社員では、「1万円以上～3万円未満/月」「3万円以上～5万円未満/月」が2割と高くなっており、年代別では、20代で「5万円以上～10万円未満/月」が2割半ばと高い点が特徴です。

女性会社員では、「1万円以上～3万円未満/月」が34.3%と最も高くなり、男性会社員より13pt高くなっており、年代別では目立った特徴はみられず、男性会社員よりも年代による差が小さい点が特徴となります。

設問：あなたが現在、1ヵ月あたりに平均して投資(株式、債券、投資信託など)にかけている金額の合計をお答えください。

※投資をしている方ベース

- 0/月 (現在は投資金額を増やしていない)
- 1万円未満/月
- 1万円以上～3万円未満/月
- 3万円以上～5万円未満/月
- 5万円以上～10万円未満/月
- 10万円以上～15万円未満/月
- 15万円以上～20万円未満/月
- 20万円以上/月

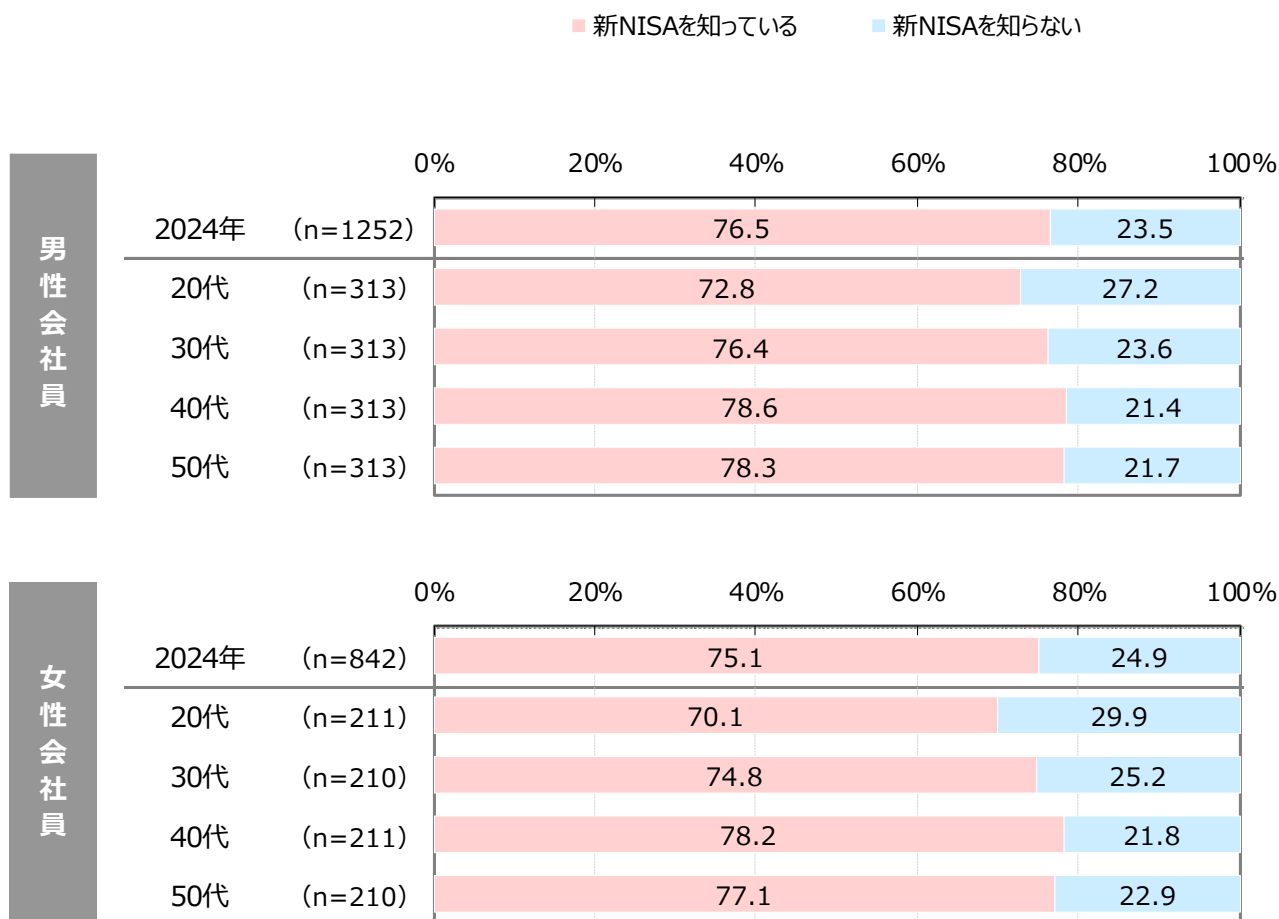


■ 新NISAがスタートしたことの認知

2024年1月から新NISAがスタートしたことについて、男性会社員では、「新NISAを知っている」が76.5%となっております。年代別で見ると、20代の認知がやや低い傾向がみられます。

女性会社員では、「新NISAを知っている」が75.1%と、男性会社員との間に認知の差はみられませんでした。年代別で見ると、男性会社員と同様に、20代で認知がやや低い傾向となりました。

設問：あなたは、2024年1月から新NISAがスタートしたことをご存じですか。
このアンケートに回答する前にご存じだったかをお答えください。



■ 新NISA開始後、月々の投資額は変化したか

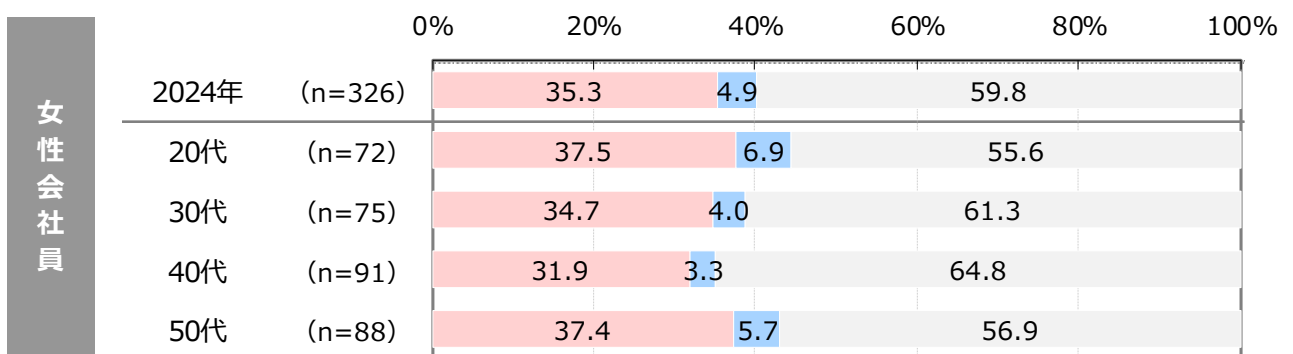
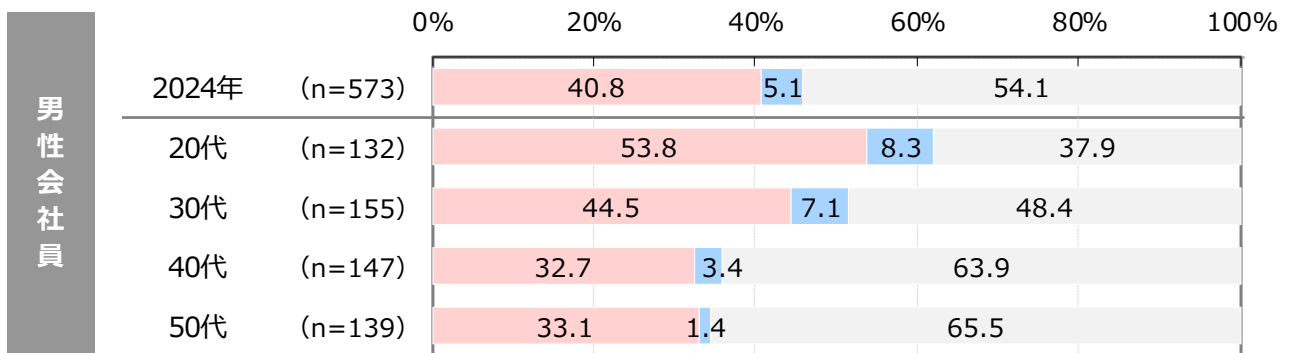
新NISAを知っており、現在投資を行っている方に、新NISA開始以降と開始前とで投資金額に変化があったかを確認したところ、男性会社員では、「増加した」が40.8%、「減少した」が5.1%で、増加した割合の方が高い結果となりました。年代別でみると、20代で「増加した」が5割以上と若年層で増加傾向がみられます。

女性会社員では、「増加した」が35.3%、「減少した」が4.9%で、男性会社員と同様に増加した割合の方が高くなります。ただし、男性会社員よりも「増加した」は6pt低くなっております。年代別でみると、男性会社員に比べて年代による差は小さい点が特徴となります。

設問：「新NISAを知っており、現在投資を行っている」とお答えの方に伺います。
2024年1月の新NISA開始以降、開始前と比べてあなたの月々の投資金額に変化はありましたか。

※新NISA認知、投資をしている方ベース

- 新NISA開始前と比べて、月々の投資金額が増加した
- 新NISA開始前と比べて、月々の投資金額が減少した
- 新NISA開始前後で、月々の投資金額は変わらない



■ 新NISA口座での投資開始意向

新NISAを知っているが現在投資を行っていない方に、新NISA口座での投資意向をみると、男性会社員では、「新NISA口座で投資を開始したい」という意向を持つ人は39.7%となります。

年代別でみると、20代から40代では4割半が意向を示すものの、50代では3割以下と意向が低い点が特徴となります。

女性会社員では、「新NISA口座で投資を開始したい」という意向を持つ人は42.0%となります。

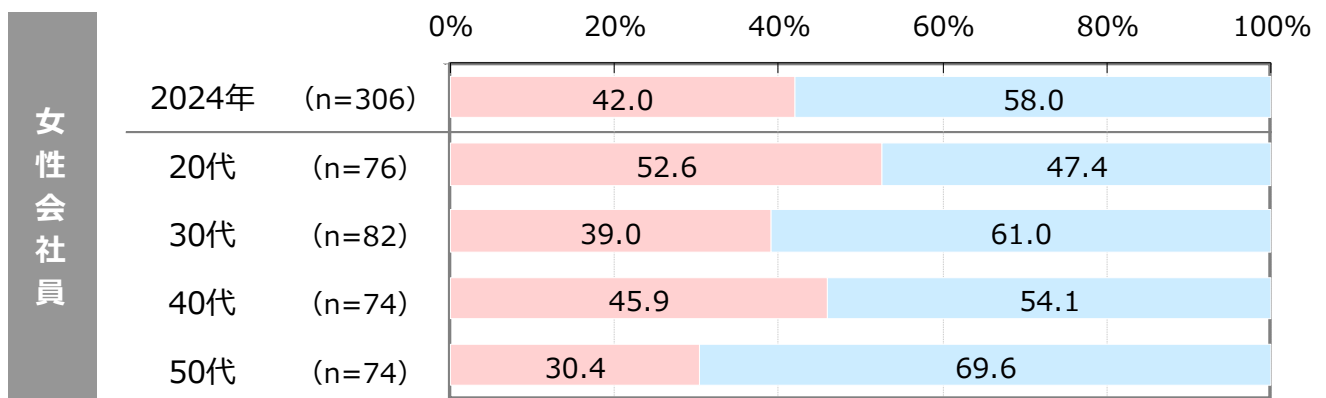
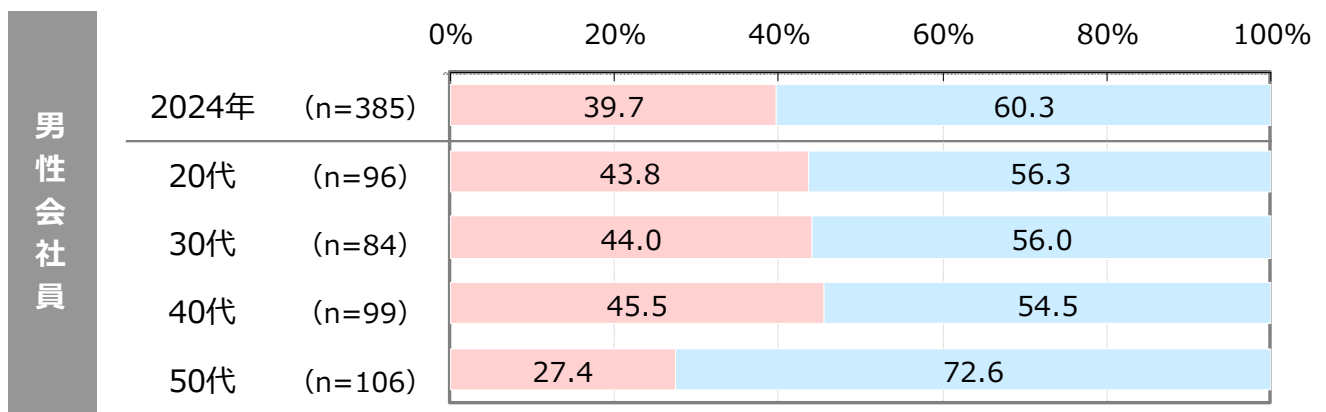
年代別でみると、20代では5割以上が意向を持っており、男性会社員20代に比べても意向が高い点が特徴となります。

設問：「新NISAを知っているが、現在投資は行っていない」とお答えの方に伺います。
あなたは今後、新NISA口座での投資を検討していますか。

※新NISA認知、投資をしていない方ベース

■ 新NISA口座で投資を開始したい

■ 新NISA口座での投資は考えていない



【10】物価高の影響

- 男性・女性会社員ともに、約8割の人が物価高の影響を「とても感じている」「やや感じている」
- 物価高による影響で男性・女性会社員ともに約7割の人が支出が増えた
- 男性・女性会社員ともに物価高による影響に対応するために支出を減らしているものとして最も高いのは「食費」

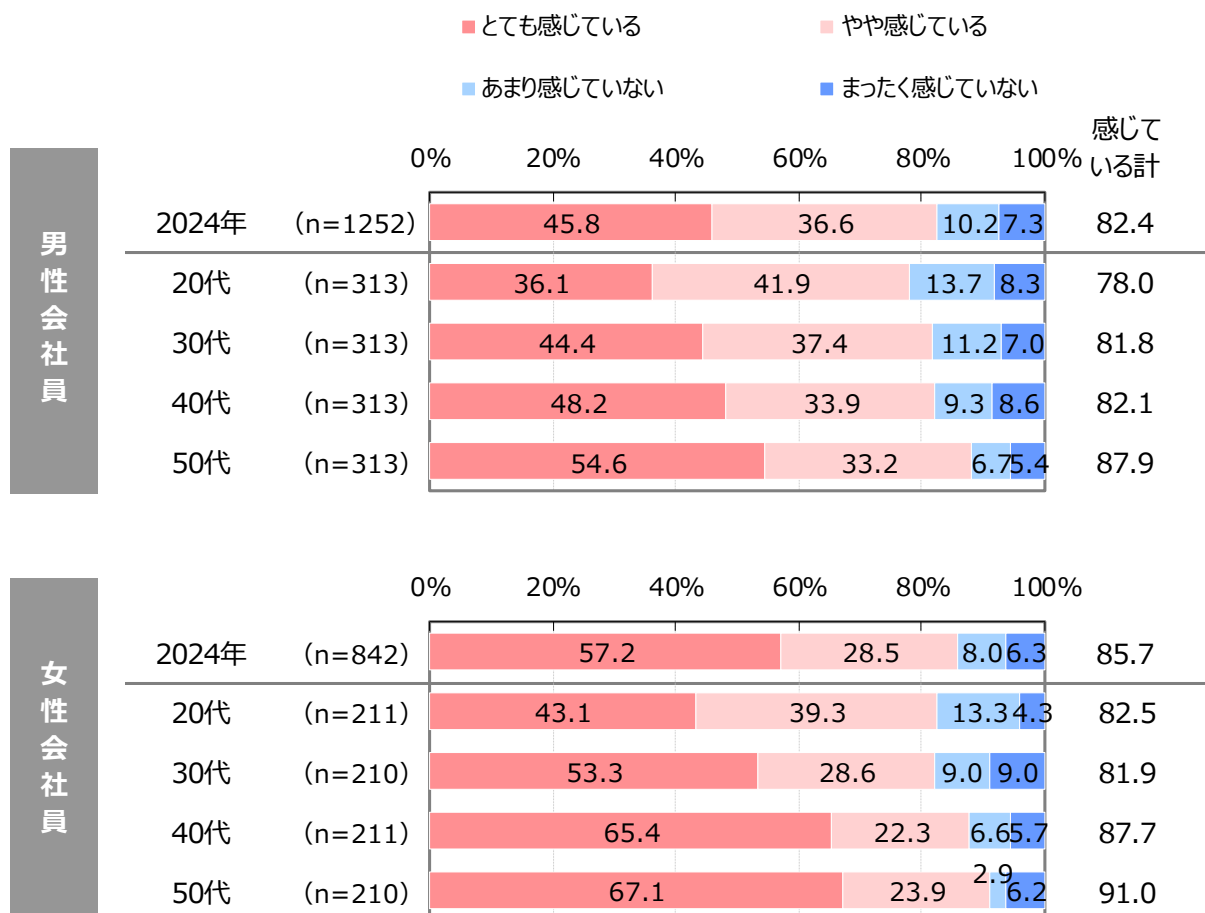
■ ご自身の家計・消費における物価高の影響

現在の家計や消費における物価高の影響についてみると、男性会社員では「とても感じている」が45.8%と最も高く、「やや感じている」(36.6%)を合わせた「感じている計」は82.4%となり、多くの人が物価高の影響を感じています。年代別でみると、50代では「感じている計」が87.9%と最も高い結果となります。なお、「とても感じている」は年代が高くなるほど高くなる点が特徴となります。

女性会社員では「とても感じている」が57.2%と、男性会社員より11pt高くなっています。「やや感じている」28.5%を合わせた「感じている計」は85.7%となっています。

年代別でみると、男性会社員と同様に年代が高いほど、物価高の影響を感じる割合が高まる点が特徴となります。

設問：現在、あなたはご自身の家計や消費において、物価高の影響を感じていますか。



■ ご自身の家計・消費額の、物価高による1か月あたり増加金額

物価高による1か月あたりの支出の増加金額について、男性会社員では、増えている割合は73.2%と4人に3人となりました。具体的な金額は、「1万円未満/月」「1万円以上～2万円未満/月」が2割半ばとなっています。

年代別でみると、20代では「自身の支出は増えていない」が32.8%と、他の年代よりも増えていない割合が高い点が特徴となります。

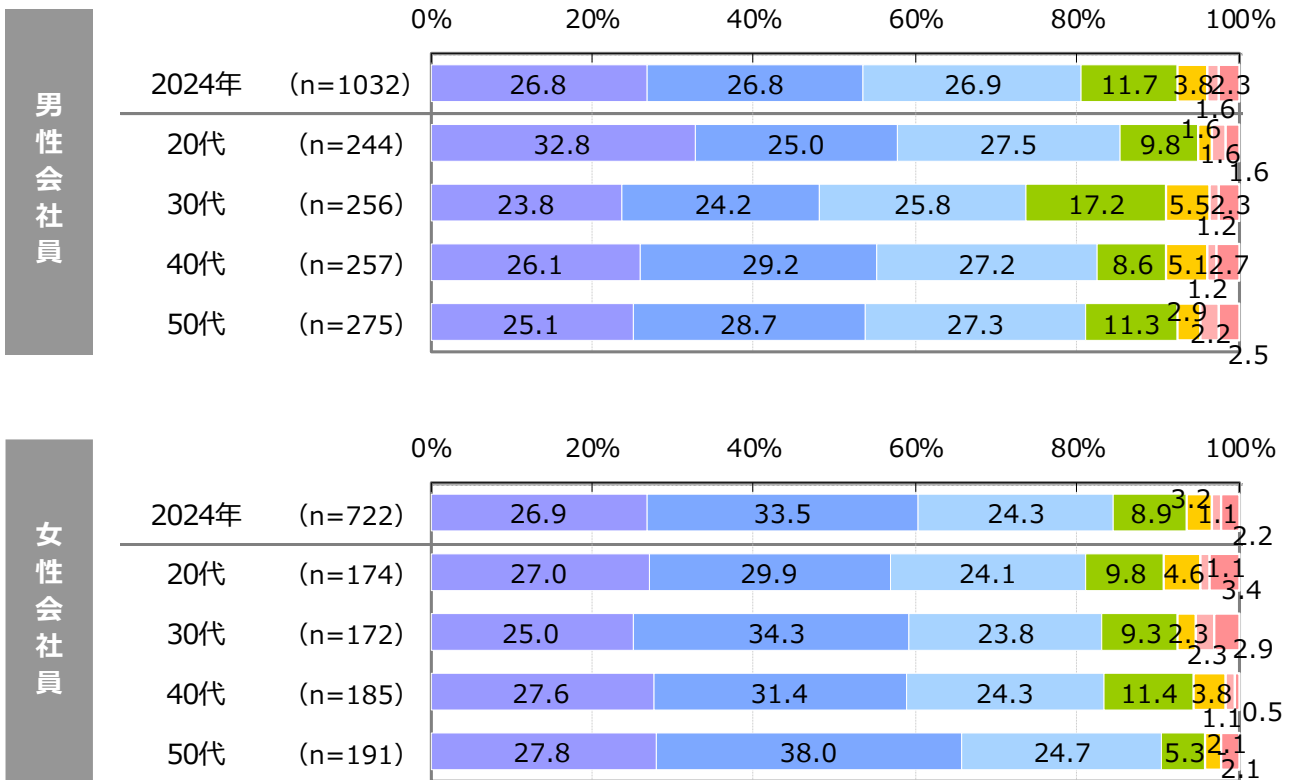
女性会社員では、増えている割合は73.1%と男性会社員と同水準となっています。具体的な金額は、「1万円未満/月」が33.5%と最も高く、男性会社員と比較して7pt上回る結果となります。

年代別では、50代で「1万円未満/月」が他の年代よりも高い点が特徴となります。

設問：物価高による影響で、あなたご自身の家計や消費において、支出は1か月あたりいくらくらい増えましたか。

※物価高の影響を感じている方ベース

- 自身の支出は増えていない
- 1万円未満/月
- 1万円以上～2万円未満/月
- 2万円以上～3万円未満/月
- 3万円以上～4万円未満/月
- 4万円以上～5万円未満/月
- 5万円以上/月



■ 物価高対策で現在支出を減らしている費目

物価高対策で現在支出を減らしている費目について、男性会社員では、「食費」が35.7%を占めます。「外食費」29.0%、「娯楽・レジャー費」26.1%と続きます。「支出は減らしていない」も26.8%と一定数いらっしゃるのことが分かります。

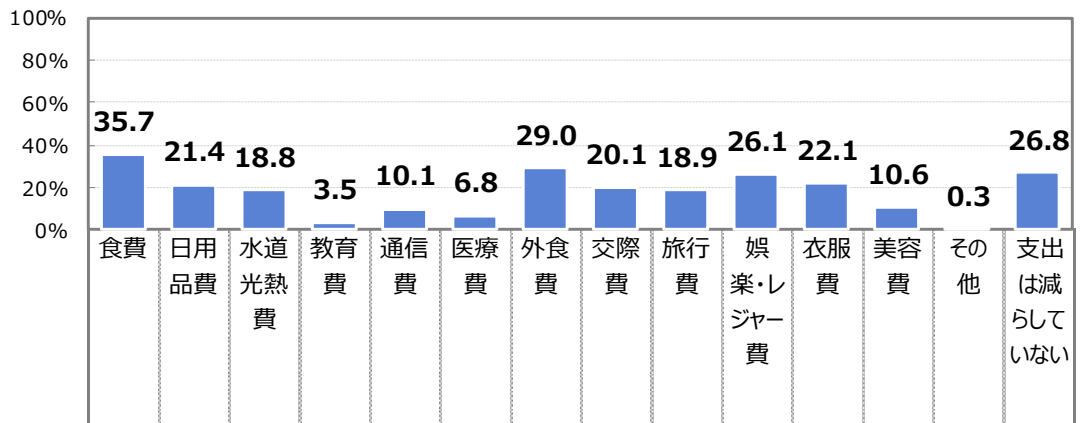
女性会社員においては、「食費」が40.2%と最も高いです。次いで、「衣服費」37.5%、「外食費」35.1%が続きます。男性会社員と比較して、「衣服費」「美容費」が高い点が特徴となります。

年代別にみると、「衣服費」「美容費」は40代、「食費」「旅行費」は50代で支出を減らしている割合が高くなっています。

設問：物価高による影響に対応するために、あなたが現在支出を減らしているものがあれば全てお答えください。

男性会社員

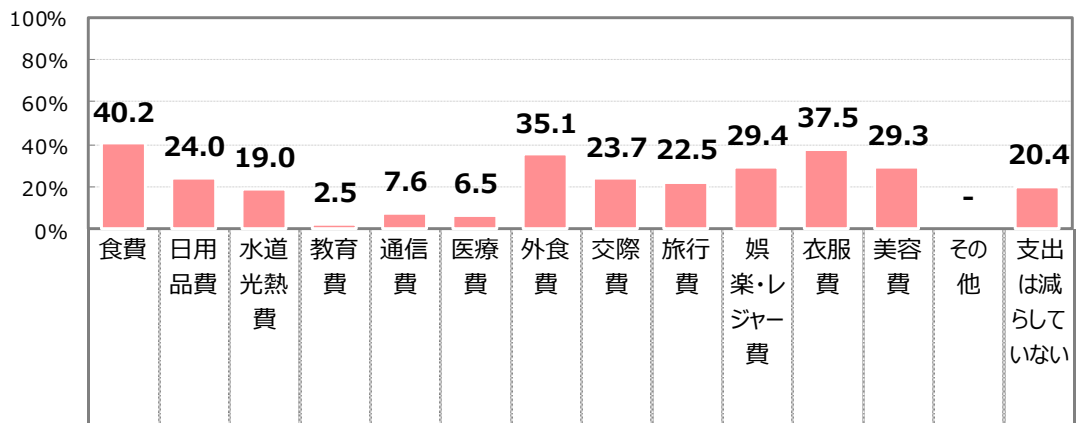
※物価高の影響を感じている方ベース



■ 2024年	(n=1032)	35.7	21.4	18.8	3.5	10.1	6.8	29.0	20.1	18.9	26.1	22.1	10.6	0.3	26.8
20代	(n=244)	35.2	21.7	18.4	4.5	11.5	4.9	26.2	16.8	16.0	24.2	18.9	10.2	0.0	25.0
30代	(n=256)	31.6	25.0	17.2	3.9	10.5	9.0	32.0	22.7	23.0	29.3	25.0	13.3	0.8	24.2
40代	(n=257)	37.4	19.8	18.7	3.5	7.8	5.1	24.1	16.0	18.3	27.6	19.1	7.4	0.0	30.0
50代	(n=275)	38.2	19.3	20.7	2.2	10.5	8.0	33.1	24.4	18.2	23.3	25.1	11.3	0.4	28.0

■全体+10pt. ■全体+5pt. ■全体-5pt. ■全体-10pt

女性会社員



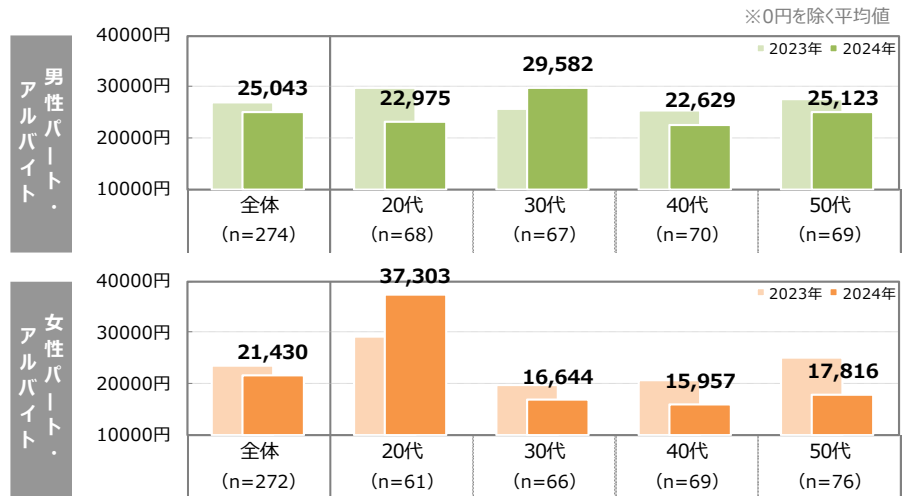
■ 2024年	(n=722)	40.2	24.0	19.0	2.5	7.6	6.5	35.1	23.7	22.5	29.4	37.5	29.3	0.0	20.4
20代	(n=174)	36.8	19.5	16.1	2.9	6.3	6.9	23.0	20.7	16.1	22.4	30.5	28.7	0.0	20.7
30代	(n=172)	38.4	19.2	16.9	1.2	6.4	5.8	39.5	19.8	19.2	30.8	33.7	27.3	0.0	24.4
40代	(n=185)	38.9	28.1	18.9	1.6	8.1	7.0	39.5	27.0	25.9	30.3	42.7	35.1	0.0	19.5
50代	(n=191)	46.3	28.4	23.7	4.2	9.5	6.3	37.8	26.8	27.8	33.7	42.2	25.8	0.0	17.4

■全体+10pt. ■全体+5pt. ■全体-5pt. ■全体-10pt

【11】パート・アルバイトの基本データ

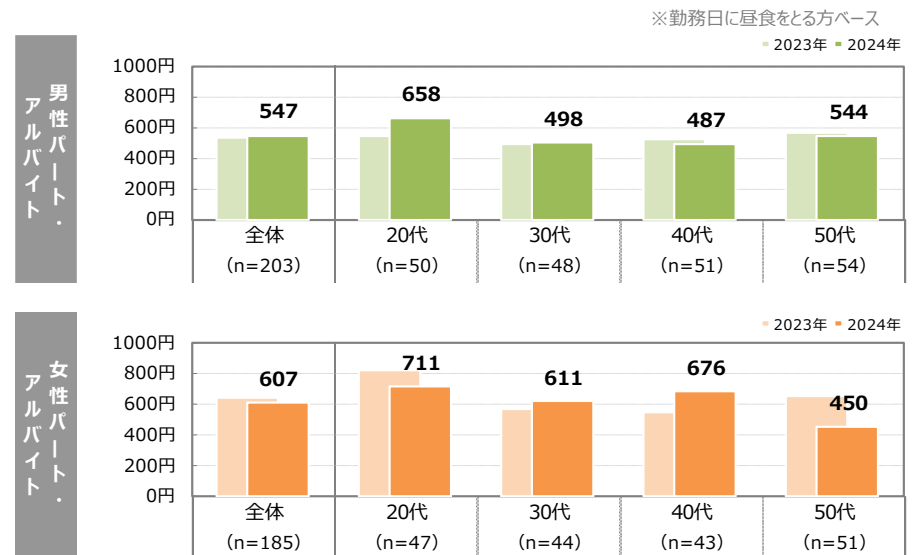
■ お小遣い

1カ月の平均お小遣い額



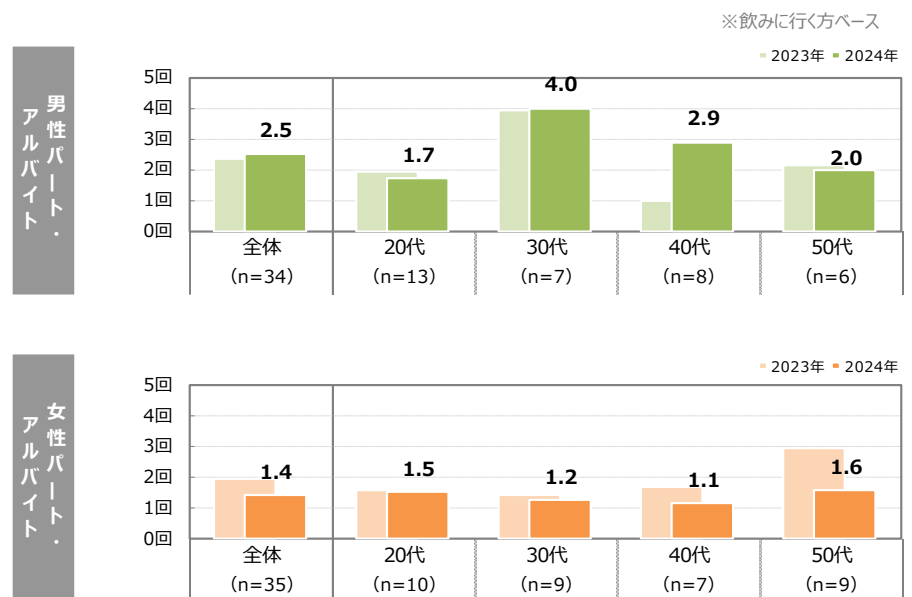
■ 昼食事情

1日の平均昼食代



■ 飲み事情

1カ月の平均飲み回数

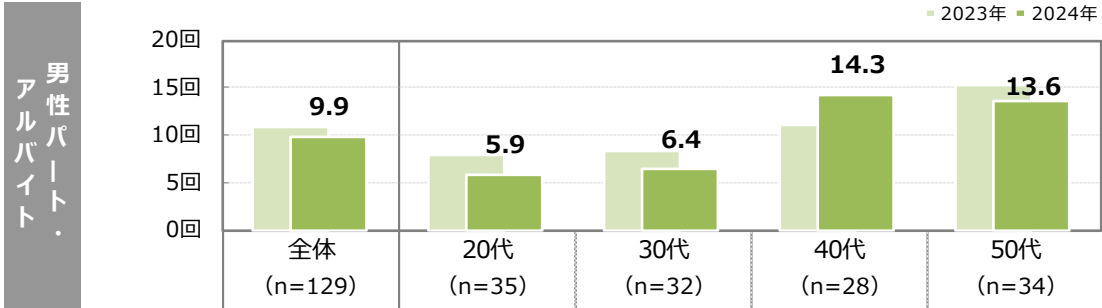


※n=30未満は参考値として掲載

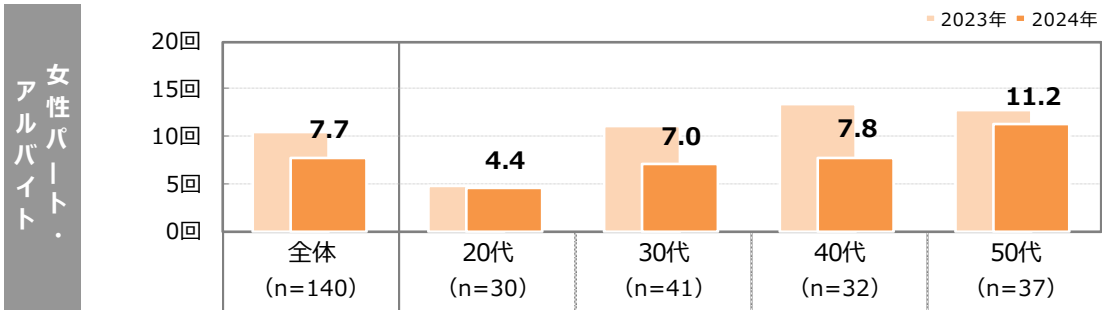
■ 飲み事情(つづき)

1ヵ月の家飲み回数

※自宅での飲み方ベース

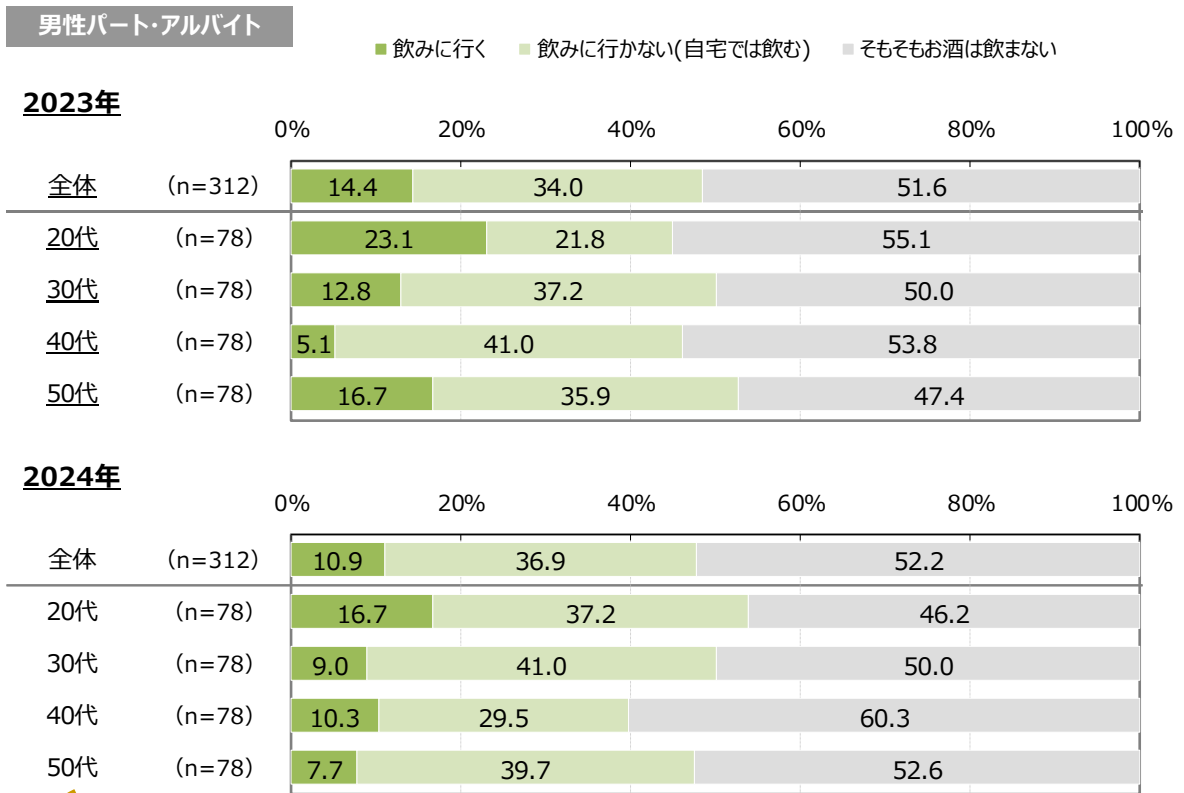


※n=30未満は参考値として掲載

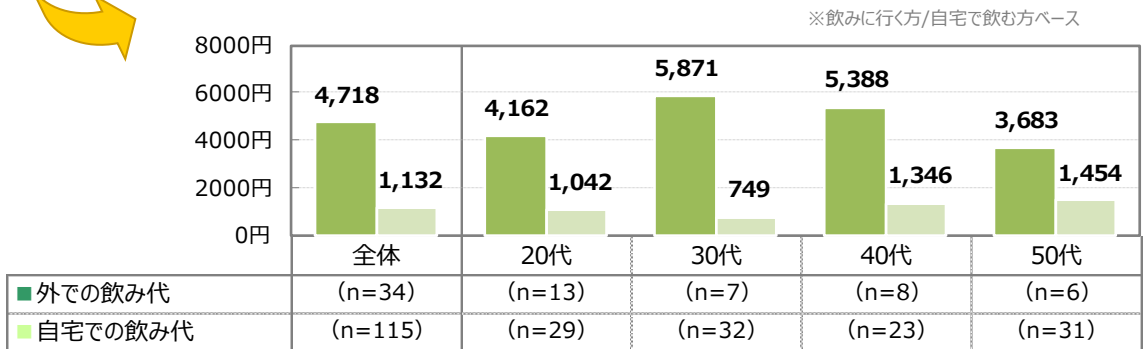


■ 飲み事情(つづき)

飲酒状況と1回の平均飲み代



1回の平均飲み代は・・・？



※n=30未満は参考値として掲載

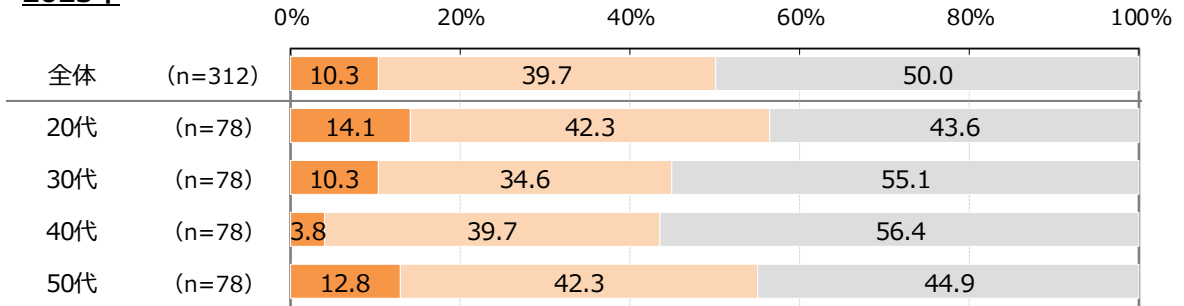
■ 飲み事情(つづき)

飲酒状況と1回の平均飲み代

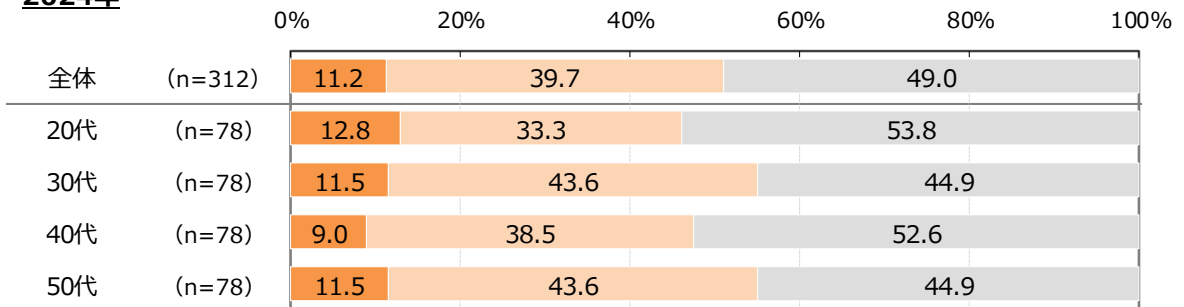
女性パート・アルバイト

■ 飲みに行く ■ 飲みに行かない(自宅では飲む) ■ そもそもお酒は飲まない

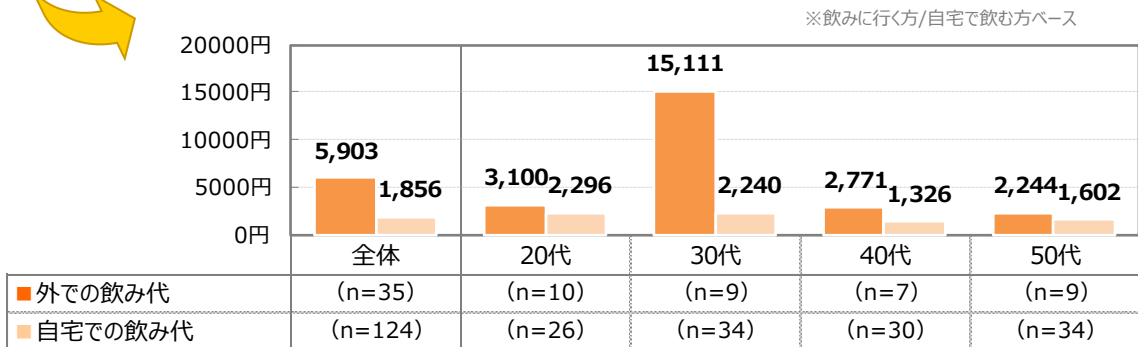
2023年



2024年



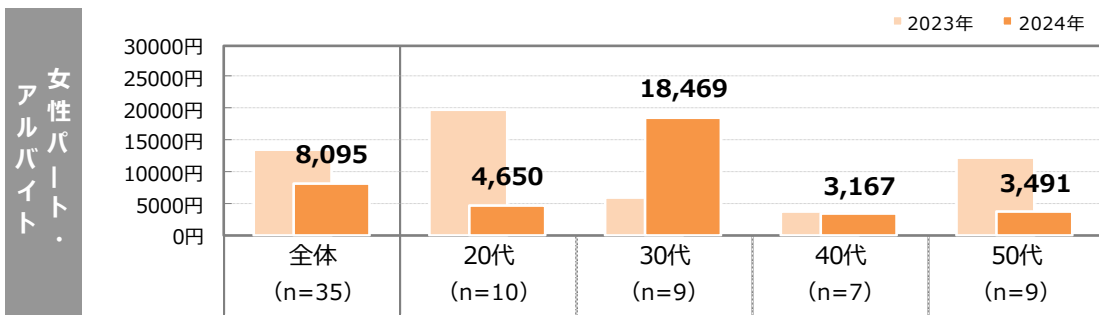
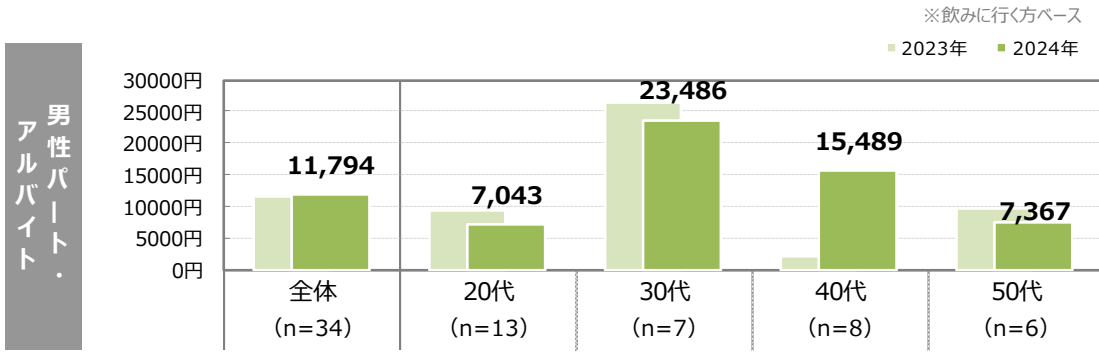
1回の平均飲み代は・・・？



※n=30未満は参考値として掲載

■ 飲み事情(つづき)

1ヵ月の平均飲み代



※n=30未満は参考値として掲載